

基本計画書

基本計画									
事項	記入欄							備考	
計画の区分	研究科の専攻の設置（国際連携専攻）								
フリガナ	コクリツガクカクシヨウ キョウトガク							【連携外国大学の設置者】	
設置者	国立大学法人 京都大学							①グラスゴー大学評議会 (University of Glasgow Court) ②スペイン（国）	
フリガナ	キョウトガクガクシヨウ							【連携外国大学の名称】	
大学の名称	京都大学大学院 (Graduate School, Kyoto University)							①University of Glasgow ②University of Barcelona (Universitat de Barcelona)	
大学本部の位置	京都府京都市左京区吉田本町							【連携外国大学の本部の位置】 ①University Ave, Glasgow G12 8QQ, Scotland, UK ②Gran Via de les Corts Catalanes, 585 08007 Barcelona, Spain	
大学の目的	高い倫理性に支えられた「自由の学風」を標榜しつつ、学問の源流を支える研究を重視し、先端的・独創的な研究を推進して、世界最高水準の研究拠点としての機能を高め、社会の各分野において指導的な立場に立ち、重要な働きをすることができる人材を育成する。								
新設学部等の目的	京都大学、グラスゴー大学、バルセロナ大学の3大学を含む7カ国7大学で構成される「GLOCALコンソーシアム」の多国籍的な教育資源と環境を活用することにより、社会や組織が直面する様々な課題に対し、歴史的素養と経済学的な知識に裏打ちされた批判的かつ分析的な思考を生かして取り組むことができる人材、またグローバル化する今日の世界においてリーダーシップを発揮できる国際的な人材を育成する。								
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地	【連携外国大学の学部等名及び所在地】 ①School of Social & Political Sciences, Adam Smith Building Bute Gardens Glasgow, G12 8RT, Scotland, UK ②Faculty of Economics and Business, Diagonal, 690-696, 08034 Barcelona, Spain <>内の数字は、母体となる経済学研究科修士課程全体の入学定員等
	経済学研究科 (Graduate School of Economics) 京都大学国際連携グローバル経済・地域創造専攻 (International Joint Master Degree Program in Global Markets, Local Creativities) 計	年	人	年次人	人	修士 (グローバル経済・地域創造) (International Master in Global Markets, Local Creativities)	令和3年9月 第1年次	京都市左京区吉田本町	
同一設置者内における変更状況 (定員の移行、名称の変更等)	該当なし								
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数	40 単位		
		講義	演習	実験・実習	計				
	京都大学国際連携グローバル経済・地域創造専攻	(京大) 15 科目 (UoG) 6 (UB) 9 (共同開設) -	(京大) 1 科目 (UoG) - (UB) 1 (共同開設) 1	(京大) 2 科目 (UoG) - (UB) 1 (共同開設) -	(京大) 18 科目 (UoG) 6 (UB) 11 (共同開設) 1				

教	学部等の名称	専任教員等						兼任 教員等	【連携外国大学と調整を 行う専任教員の状況等】
		教授	准教授	講師	助教	計	助手		
新 設	経済学研究科 京都大学国際連携グローバル経済・地域 創造専攻（修士課程）	人 6 (6)	人 1 (1)	人 3 (3)	人 0 (0)	人 10 (10)	人 0 (0)	人 1 (1)	人数：1名 職名：講師 所属：京都大学国際連 携グローバル経済・地 域創造専攻
	計	6 (6)	1 (1)	3 (3)	0 (0)	10 (10)	0 (0)	1 (1)	
分									
	計	6 (6)	1 (1)	3 (3)	0 (0)	10 (10)	0 (0)	1 (1)	
既	文学研究科								
	文献文化学専攻 （博士課程）	15 (15)	12 (12)	2 (2)	2 (2)	31 (31)	0 (0)	30 (30)	
	思想文化学専攻 （博士課程）	9 (9)	8 (8)	0 (0)	1 (1)	18 (18)	0 (0)	18 (18)	
	歴史文化学専攻 （博士課程）	10 (10)	3 (3)	0 (0)	6 (6)	19 (19)	0 (0)	17 (17)	
	行動文化学専攻 （博士課程）	8 (8)	9 (9)	1 (1)	2 (2)	20 (20)	0 (0)	15 (15)	
	現代文化学専攻 （博士課程）	5 (5)	2 (2)	1 (1)	0 (0)	8 (8)	0 (0)	9 (9)	
	京都大学・ハイデルベルク大学 国際連携文化越境専攻 （修士課程）	6 (6)	5 (5)	3 (3)	2 (2)	16 (16)	0 (0)	2 (2)	
	共通（多元統合人文学講座） （博士課程）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	共通（総合文化学講座） （博士課程）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	教育学研究科								
	教育学環専攻 （博士課程）	21 (21)	17 (17)	3 (3)	1 (1)	42 (42)	0 (0)	44 (44)	
	法学研究科								
	法政理論専攻 （博士課程）	21 (21)	16 (16)	0 (0)	0 (0)	37 (37)	1 (1)	3 (3)	
	法曹養成専攻 （専門職学位課程）	34 (34)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	34 (34)	0 (0)	58 (58)	
	経済学研究科								
	経済学専攻 （博士課程）	21 (21)	6 (6)	11 (11)	1 (1)	39 (39)	0 (0)	56 (56)	
	理学研究科								
	数学・数理解析専攻 （博士課程）	17 (17)	17 (17)	1 (1)	7 (7)	42 (42)	0 (0)	15 (15)	
	物理学・宇宙物理学専攻 （博士課程）	22 (22)	28 (28)	4 (4)	24 (24)	78 (78)	0 (0)	11 (11)	
	地球惑星科学専攻 （博士課程）	12 (12)	18 (18)	0 (0)	8 (8)	38 (38)	0 (0)	6 (6)	
	化学専攻 （博士課程）	12 (12)	13 (13)	1 (1)	17 (17)	43 (43)	0 (0)	5 (5)	
	生物科学専攻 （博士課程）	13 (13)	12 (12)	1 (1)	18 (18)	44 (44)	0 (0)	6 (6)	
	医学研究科								
	医学専攻 （博士課程）	69 (69)	61 (61)	60 (60)	166 (166)	356 (356)	0 (0)	11 (11)	
	医科学専攻 （博士課程）	7 (7)	4 (4)	3 (3)	9 (9)	23 (23)	0 (0)	0 (0)	
	社会健康医学系専攻 （専門職学位課程）（博士課程）	8 (8)	13 (13)	0 (0)	5 (5)	26 (26)	0 (0)	25 (25)	
	人間健康科学系専攻 （博士課程）	22 (22)	21 (21)	5 (5)	23 (23)	71 (71)	0 (0)	45 (45)	
	京都大学・マギル大学 ゲノム医学国際連携専攻 （博士課程）	39 (42)	18 (15)	6 (5)	0 (0)	63 (62)	0 (0)	1 (1)	
	薬学研究科								
	薬科学専攻 （博士課程）	9 (9)	8 (8)	4 (4)	12 (12)	33 (33)	0 (0)	13 (13)	
	薬学専攻 （博士課程）	4 (4)	4 (4)	2 (2)	5 (5)	15 (15)	0 (0)	0 (0)	
	医薬創成情報科学専攻 （博士課程）	5 (5)	2 (2)	2 (2)	4 (4)	13 (13)	0 (0)	4 (4)	
	工学研究科								
	社会基盤工学専攻 （博士課程）	18 (18)	18 (18)	2 (2)	16 (16)	54 (54)	0 (0)	6 (6)	
	都市社会工学専攻 （博士課程）	13 (13)	17 (17)	0 (0)	8 (8)	38 (38)	0 (0)	2 (2)	

織 設 の	都市環境工学専攻	7	10	2	9	28	0	5	
	(博士課程)	(7)	(10)	(2)	(9)	(28)	(0)	(5)	
	建築学専攻	19	14	0	7	40	0	2	
	(博士課程)	(19)	(14)	(0)	(7)	(40)	(0)	(2)	
	機械理工学専攻	14	10	2	10	36	0	0	
	(博士課程)	(14)	(10)	(2)	(10)	(36)	(0)	(0)	
	マイクロエンジニアリング専攻	6	2	2	5	15	0	2	
	(博士課程)	(6)	(2)	(2)	(5)	(15)	(0)	(2)	
	航空宇宙工学専攻	6	4	1	5	16	0	0	
	(博士課程)	(6)	(4)	(1)	(5)	(16)	(0)	(0)	
	原子核工学専攻	9	13	2	12	36	0	7	
	(博士課程)	(9)	(13)	(2)	(12)	(36)	(0)	(7)	
	材料工学専攻	10	9	1	10	30	0	0	
	(博士課程)	(10)	(9)	(1)	(10)	(30)	(0)	(0)	
	電気工学専攻	12	7	3	4	26	0	0	
	(博士課程)	(12)	(7)	(3)	(4)	(26)	(0)	(0)	
	電子工学専攻	7	7	2	7	23	0	1	
	(博士課程)	(7)	(7)	(2)	(7)	(23)	(0)	(1)	
	材料化学専攻	8	5	1	7	21	0	0	
	(博士課程)	(8)	(5)	(1)	(7)	(21)	(0)	(0)	
	物質エネルギー化学専攻	9	12	1	9	31	0	2	
	(博士課程)	(9)	(12)	(1)	(9)	(31)	(0)	(2)	
	分子工学専攻	10	7	0	10	27	0	0	
	(博士課程)	(10)	(7)	(0)	(10)	(27)	(0)	(0)	
	高分子化学専攻	11	9	1	12	33	0	1	
	(博士課程)	(11)	(9)	(1)	(12)	(33)	(0)	(1)	
	合成・生物化学専攻	8	6	4	10	28	0	3	
	(博士課程)	(8)	(6)	(4)	(10)	(28)	(0)	(3)	
	化学工学専攻	8	7	2	8	25	0	0	
	(博士課程)	(8)	(7)	(2)	(8)	(25)	(0)	(0)	
	農学研究科								
	農学専攻	8	7	1	8	24	0	3	
	(博士課程)	(8)	(7)	(1)	(8)	(24)	(0)	(3)	
	森林科学専攻	8	9	0	10	27	0	32	
	(博士課程)	(8)	(9)	(0)	(10)	(27)	(0)	(32)	
	応用生命科学専攻	9	7	0	8	24	0	15	
	(博士課程)	(9)	(7)	(0)	(8)	(24)	(0)	(15)	
	応用生物科学専攻	13	9	0	9	31	0	13	
	(博士課程)	(13)	(9)	(0)	(9)	(31)	(0)	(13)	
	地域環境科学専攻	10	11	0	9	30	0	20	
	(博士課程)	(10)	(11)	(0)	(9)	(30)	(0)	(20)	
	生物資源経済学専攻	7	5	1	3	16	0	3	
(博士課程)	(7)	(5)	(1)	(3)	(16)	(0)	(3)		
食品生物科学専攻	6	5	0	10	21	0	0		
(博士課程)	(6)	(5)	(0)	(10)	(21)	(0)	(0)		
人間・環境学研究科									
共生人間学専攻	27	16	1	2	46	0	20		
(博士課程)	(27)	(16)	(1)	(2)	(46)	(0)	(20)		
共生文明学専攻	20	11	1	3	35	0	10		
(博士課程)	(20)	(11)	(1)	(3)	(35)	(0)	(10)		
相関環境学専攻	19	5	0	14	38	0	14		
(博士課程)	(19)	(5)	(0)	(14)	(38)	(0)	(14)		
エネルギー科学研究科									
エネルギー社会・環境科学専攻	5	4	0	2	11	0	10		
(博士課程)	(5)	(4)	(0)	(2)	(11)	(0)	(10)		
エネルギー基礎科学専攻	5	6	0	2	13	0	1		
(博士課程)	(5)	(6)	(0)	(2)	(13)	(0)	(1)		
エネルギー変換科学専攻	3	3	0	1	7	0	2		
(博士課程)	(3)	(3)	(0)	(1)	(7)	(0)	(2)		
エネルギー応用科学専攻	6	7	0	3	16	0	1		
(博士課程)	(6)	(7)	(0)	(3)	(16)	(0)	(1)		
アジア・アフリカ地域研究研究科									
東南アジア地域研究専攻	4	3	0	0	7	0	16		
(博士課程)	(4)	(3)	(0)	(0)	(7)	(0)	(16)		
アフリカ地域研究専攻	6	5	0	0	11	0	3		
(博士課程)	(6)	(5)	(0)	(0)	(11)	(0)	(3)		
グローバル地域研究専攻	4	2	0	2	8	0	9		
(博士課程)	(4)	(2)	(0)	(2)	(8)	(0)	(9)		
情報学研究科									
知能情報学専攻	8	4	2	7	21	0	4		
(博士課程)	(8)	(4)	(2)	(7)	(21)	(0)	(4)		

概	社会情報学専攻 (博士課程)	4 (4)	2 (2)	0 (0)	4 (4)	10 (10)	0 (0)	13 (13)
	先端数理学専攻 (博士課程)	4 (4)	4 (4)	2 (2)	5 (5)	15 (15)	0 (0)	5 (5)
	数理工学専攻 (博士課程)	6 (6)	4 (4)	0 (0)	6 (6)	16 (16)	0 (0)	10 (10)
	システム科学専攻 (博士課程)	6 (6)	5 (5)	0 (0)	5 (5)	16 (16)	0 (0)	3 (3)
	通信情報システム専攻 (博士課程)	8 (8)	6 (6)	0 (0)	6 (6)	20 (20)	0 (0)	0 (0)
	生命科学研究所 統合生命科学専攻 (博士課程)	8 (8)	9 (9)	3 (3)	10 (10)	30 (30)	0 (0)	13 (13)
	高次生命科学専攻 (博士課程)	10 (10)	10 (10)	2 (2)	7 (7)	29 (29)	0 (0)	20 (20)
	総合生存学館 総合生存学専攻 (博士課程)	12 (12)	5 (5)	0 (0)	1 (1)	18 (18)	0 (0)	100 (100)
	地球環境学堂・学舎 地球環境学専攻 (博士課程)	7 (7)	8 (8)	0 (0)	4 (4)	19 (19)	0 (0)	33 (33)
	環境マネジメント専攻 (博士課程)	11 (11)	10 (10)	1 (1)	10 (10)	32 (32)	0 (0)	41 (41)
要	公共政策連携研究部・教育部 公共政策専攻 (専門職学位課程)	11 (11)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	12 (12)	0 (0)	13 (13)
	経営管理研究部・教育部 経営科学専攻 (博士課程)	8 (8)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	9 (9)	0 (0)	2 (2)
	経営管理専攻 (専門職学位課程)	23 (23)	8 (8)	4 (4)	0 (0)	35 (35)	0 (0)	49 (49)
	計	802 (805)	628 (625)	147 (146)	612 (612)	2,189 (2,188)	1 (1)	— (—)
	合計	802 (805)	629 (626)	149 (148)	612 (612)	2,192 (2,191)	1 (1)	— (—)
	教員以外の職員の概要	職 種	専 任		兼 任		計	
		事 務 職 員	人		人		人	
		技 術 職 員	人		人		人	
		図 書 館 専 門 職 員	人		人		人	
		そ の 他 の 職 員	人		人		人	
計	3,678 (3,678)		3,445 (3,445)		7,123 (7,123)			
校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校 舎 敷 地	795,015 m ²	0 m ²	0 m ²	795,015 m ²			
	運 動 場 用 地	113,173 m ²	0 m ²	0 m ²	113,173 m ²			
	小 計	908,188 m ²	0 m ²	0 m ²	908,188 m ²			
	そ の 他	143,427 m ²	0 m ²	0 m ²	143,427 m ²			
合 計	1,051,615 m ²	0 m ²	0 m ²	1,051,615 m ²				
校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	1,188,069 m ² (1,188,069 m ²)	0 m ² (0 m ²)	0 m ² (0 m ²)	1,188,069 m ² (1,188,069 m ²)				
教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
	256 室	304 室	918 室	17 室 (補助職員 4人)	7 室 (補助職員 0人)			
専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	京都大学国際連携グローバル経済・地域創造専攻			10 室				

図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕		学術雑誌 〔うち外国書〕		電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	大学全体の共有分を含む
		冊	種	冊	種					
		7,188,241 [3,372,364] (7,188,241 [3,372,364])	173,668 [105,364] (173,668 [105,364])	47,598 [46,047] (47,598 [46,047])	17,450 (17,450)	72,666 (72,666)	105,452 (105,452)			
京都大学国際連携グローバル経済・地域創造専攻										
計										
図書館	面積		閲覧座席数			収 納 可 能 冊 数				
	51,139 m ²		3,213 席			8,719,417 冊				
体育館	面積		体育館以外のスポーツ施設の概要							大学全体
	7,945 m ²		陸上競技場 (500mトラック)、テニスコート (9.5面)、バレーボールコート (1面)、野球場・サッカー場・ラグビー場 (各1面)、投てき場・アーチェリー場・弓道場・相撲道場・馬場・エアライフル射撃場 (各1カ所)、プール (50m×8コース) 敷地							
経費の 見積り 方法及 維持 の概要	区 分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	国費による	
		教員1人当り研究費等								
		共同研究費等								
		図書購入費								
		設備購入費								
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次			
	千円	千円	千円	千円	千円	千円				
学生納付金以外の維持方法の概要										
既	大 学 の 名 称	京都大学								
	学 部 等 の 名 称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
		年	人	年次人	人		倍			
	総合人間学部 総合人間学科	4	120	-	480	学士 (総合人間学)	1.04	平成15年度	京都市左京区 吉田二本松町	
	文学部 人文学科	4	220	-	880	学士 (文学)	1.01	平成7年度	京都市左京区 吉田本町	
	教育学部 教育科学科	4	60	3年次10	260	学士 (教育学)	1.03	平成10年度	京都市左京区 吉田本町	
	法学部	4	330	3年次10	1,340	学士 (法学)	1.02	明治32年度	京都市左京区 吉田本町	
	経済学部 経済経営学科	4	240	3年次20	1,000	学士 (経済学)	1.03	平成21年度	京都市左京区 吉田本町	
	理学部 理学科	4	311	-	1,244	学士 (理学)	1.01	平成6年度	京都市左京区 北白川追分町	
	医学部 医学科	6	107	-	642	学士 (医学)	1.02	明治32年度	京都市左京区 吉田近衛町	
	医学部 人間健康科学科	4	100	2年次17	451	学士 (人間健康科学)	1.05	平成20年度		
	薬学部 薬科学科	4	65	-	245	学士 (薬科学)	1.07	平成18年度	京都市左京区 吉田下阿達町46-29	薬学部は、平成30年度入学より、4年進級時に学科への配属が決定されるため、学科ごとの入学者数を算出できない。そのため、平成30年度以降は、入学者数を各学科の入学定員の割合で案分し、各学科の入学者数を算出(小数点以下2ケタまで)したうえで、定員超過率を計算している。
	薬学部 薬学科	6	15	-	135	学士 (薬学)	1.04	平成18年度		
	工学部 地球工学科	4	185	-	740	学士 (工学)	1.03	平成8年度	京都市左京区 吉田本町	
	工学部 建築学科	4	80	-	320		1.03	平成8年度		
	工学部 物理工学科	4	235	-	940		1.02	平成6年度		
	工学部 電気電子工学科	4	130	-	520		1.04	平成7年度		
	工学部 情報学科	4	90	-	360		1.05	平成7年度		
	工学部 工業化学科	4	235	-	940		1.03	平成5年度		
	農学部 資源生物科学科	4	94	-	376	学士 (農学)	1.02	平成13年度	京都市左京区 北白川追分町	
農学部 応用生命科学科	4	47	-	188		1.00	平成13年度			
農学部 地域環境工学科	4	37	-	148		1.07	平成13年度			
農学部 食料・環境経済学科	4	32	-	128		1.07	平成13年度			
農学部 森林科学科	4	57	-	228		1.02	平成13年度			
農学部 食品生物科学科	4	33	-	132		1.03	平成13年度			
大 学 の 名 称	京都大学大学院									

学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地
	年	人	年次人	人				
設 文学研究科	文献文化学専攻				修士（文学） 博士（文学）		平成8年度	京都市左京区 吉田本町
	博士課程	5						
	博士前期課程	2	33	-	66	0.84		
	博士後期課程	3	18	-	54	0.79		
	思想文化学専攻						平成8年度	
	博士課程	5						
	博士前期課程	2	20	-	40	1.15		
	博士後期課程	3	11	-	33	0.96		
	歴史文化学専攻						平成8年度	
	博士課程	5						
	博士前期課程	2	20	-	40	1.12		
	博士後期課程	3	11	-	33	0.99		
	行動文化学専攻						平成8年度	
	博士課程	5						
	博士前期課程	2	18	-	36	1.19		
	博士後期課程	3	10	-	30	0.83		
現代文化学専攻						平成8年度		
博士課程	5							
博士前期課程	2	9	-	18	0.82			
博士後期課程	3	5	-	15	0.66			
京都大学・ハイデルベルク大学 国際連携文化越境専攻								
修士課程	2	10	-	20	0.70	平成29年度		
教育学研究科	教育学環専攻				修士（教育学） 博士（教育学）		平成30年度	京都市左京区 吉田本町
	博士課程	5						
	博士前期課程	2	42	-	84	0.84		
博士後期課程	3	25	-	75	0.97			
法学研究科	法政理論専攻				修士（法学） 博士（法学）		平成16年度	京都市左京区 吉田本町
	博士課程	5						
	博士前期課程	2	21	-	42	0.68		
	博士後期課程	3	24	-	72	0.80		
	法曹養成専攻				法務博士 （専門職）		平成16年度	
専門職学位課程	3	160	-	480	0.96			
経済学研究科	経済学専攻				修士（経済学） 博士（経済学）		平成20年度	京都市左京区 吉田本町
	博士課程	5						
	博士前期課程	2	70	-	140	0.93		
博士後期課程	3	25	-	94	0.89			
大 理学研究科	数学・数理解析専攻				修士（理学） 博士（理学）		平成6年度	京都市左京区 北白川追分町
	博士課程	5						
	博士前期課程	2	52	-	104	0.99		
	博士後期課程	3	20	-	60	0.88		
	物理学・宇宙物理学専攻						平成7年度	
	博士課程	5						
	博士前期課程	2	81	-	162	1.08		
	博士後期課程	3	48	-	144	0.88		
	地球惑星科学専攻						平成6年度	
	博士課程	5						
	博士前期課程	2	50	-	100	0.79		
	博士後期課程	3	25	-	75	0.77		
	化学専攻						平成6年度	
	博士課程	5						
	博士前期課程	2	61	-	122	1.06		
	博士後期課程	3	32	-	96	0.95		
生物科学専攻						平成7年度		
博士課程	5							
博士前期課程	2	74	-	148	0.86			
博士後期課程	3	41	-	123	0.94			
医学研究科	医学専攻				博士（医学）		平成18年度	京都市左京区 吉田近衛町
	博士課程	4	166	-	668	1.04		

学	医科学専攻				修士 (医科学)	平成12年度	
	博士課程	5			博士 (医科学)		
	博士前期課程	2	20	-	40	1.20	
	博士後期課程	3	15	-	45	1.08	
	社会健康医学系専攻					平成12年度	
	博士課程				博士		
	博士後期課程	3	12	-	36	0.91	
	専門職学位課程	2	34	-	68	1.21	
	人間健康科学系専攻					平成19年度	
	博士課程	5			修士 (人間健康科学)		
	博士前期課程	2	49	-	98	1.33	
	博士後期課程	3	15	-	45	1.44	
	京都大学・マギル大学ゲノム医学国際連携専攻					平成30年度	
	博士課程	4	4	-	12	0.66	
	薬学研究科						京都市左京区 吉田下阿達町46-29
	薬学専攻				博士 (薬学)	平成24年度	
	博士課程	4	15	-	60	0.68	
	薬科学専攻				修士 (薬科学)	平成22年度	
	博士課程	5			博士 (薬科学)		
	博士前期課程	2	50	-	100	0.91	
	博士後期課程	3	22	-	66	0.71	
	医薬創成情報科学専攻				修士 (薬科学)	平成19年度	
	博士課程	5			博士 (薬科学)		
	博士前期課程	2	14	-	28	0.96	
	博士後期課程	3	7	-	21	0.66	
	工学研究科				修士 (工学)		京都市西京区 京都大学桂
	社会基盤工学専攻				博士 (工学)	平成15年度	
	博士課程	5					
	博士前期課程	2	58	-	116	1.36	
	博士後期課程	3	17	-	51	1.24	
	都市社会工学専攻					平成15年度	
	博士課程	5					
	博士前期課程	2	57	-	114	1.07	
博士後期課程	3	17	-	51	1.01		
都市環境工学専攻					平成15年度		
博士課程	5						
博士前期課程	2	36	-	72	1.05		
博士後期課程	3	10	-	30	0.96		
建築学専攻					昭和28年度		
博士課程	5						
博士前期課程	2	75	-	150	0.95		
博士後期課程	3	22	-	66	0.75		
機械理工学専攻					平成17年度		
博士課程	5						
博士前期課程	2	59	-	118	1.05		
博士後期課程	3	16	-	48	0.89		
マイクロエンジニアリング専攻					平成17年度		
博士課程	5						
博士前期課程	2	30	-	60	0.91		
博士後期課程	3	7	-	21	0.75		
航空宇宙工学専攻					平成6年度		
博士課程	5						
博士前期課程	2	24	-	48	0.87		
博士後期課程	3	7	-	21	0.61		
原子核工学専攻					昭和32年度		
博士課程	5						
博士前期課程	2	23	-	46	1.12		
博士後期課程	3	9	-	27	0.77		
材料工学専攻					平成6年度		
博士課程	5						
博士前期課程	2	38	-	76	1.11		
博士後期課程	3	10	-	30	1.20		
電気工学専攻					昭和28年度		
博士課程	5						
博士前期課程	2	38	-	76	1.11		
博士後期課程	3	10	-	30	0.86		

等	電子工学専攻						平成15年度	
	博士課程	5						
	博士前期課程	2	35	-	70	0.86		
	博士後期課程	3	10	-	30	0.70		
	材料化学専攻						平成5年度	
	博士課程	5						
	博士前期課程	2	29	-	58	1.06		
	博士後期課程	3	9	-	27	0.47		
	物質エネルギー化学専攻						平成5年度	
	博士課程	5						
	博士前期課程	2	39	-	78	0.89		
	博士後期課程	3	11	-	33	0.96		
	分子工学専攻						昭和58年度	
	博士課程	5						
	博士前期課程	2	35	-	70	0.92		
	博士後期課程	3	10	-	30	0.90		
	高分子化学専攻						昭和40年度	
	博士課程	5						
	博士前期課程	2	46	-	92	1.03		
	博士後期課程	3	15	-	45	0.48		
合成・生物化学専攻						平成5年度		
博士課程	5							
博士前期課程	2	32	-	64	1.03			
博士後期課程	3	10	-	30	0.76			
化学工学専攻						昭和40年度		
博士課程	5							
博士前期課程	2	34	-	68	1.20			
博士後期課程	3	7	-	21	0.85			
の	農学研究科							京都市左京区 北白川追分町
	農学専攻						昭和28年度	
	博士課程	5						
	博士前期課程	2	33	-	66	0.95		
	博士後期課程	3	8	-	24	0.78		
	森林科学専攻						平成8年度	
	博士課程	5						
	博士前期課程	2	48	-	96	1.09		
	博士後期課程	3	17	-	51	0.52		
	応用生命科学専攻						平成9年度	
	博士課程	5						
	博士前期課程	2	63	-	126	1.03		
	博士後期課程	3	17	-	51	0.74		
	応用生物科学専攻						平成8年度	
	博士課程	5						
	博士前期課程	2	52	-	104	1.23		
	博士後期課程	3	17	-	51	0.68		
	地域環境科学専攻						平成7年度	
	博士課程	5						
	博士前期課程	2	50	-	100	1.21		
博士後期課程	3	15	-	45	0.70			
生物資源経済学専攻						平成7年度		
博士課程	5							
博士前期課程	2	24	-	48	0.93			
博士後期課程	3	8	-	24	0.74			
食品生物科学専攻						平成13年度		
博士課程	5							
博士前期課程	2	33	-	66	0.96			
博士後期課程	3	8	-	24	0.41			
人間・環境学研究科							京都市左京区 吉田二本松町	
共生人間学専攻						平成15年度		
博士課程	5							
博士前期課程	2	69	-	138	1.20			
博士後期課程	3	28	-	84	1.40			
共生文明学専攻						平成15年度		
博士課程	5							
博士前期課程	2	57	-	114	0.71			
博士後期課程	3	25	-	75	0.88			
相関環境学専攻						平成15年度		
博士課程	5							
博士前期課程	2	38	-	76	1.18			
博士後期課程	3	15	-	45	1.08			

状

エネルギー科学研究科 エネルギー社会・環境科学専攻 博士課程 博士前期課程 博士後期課程 エネルギー基礎科学専攻 博士課程 博士前期課程 博士後期課程 エネルギー変換科学専攻 博士課程 博士前期課程 博士後期課程 エネルギー応用科学専攻 博士課程 博士前期課程 博士後期課程	5 2 3 5 2 3 5 2 3 5 2 3 5 2 3			修士 (エネルギー科学) 博士 (エネルギー科学)	1.01 0.66	平成8年度	京都市左京区 吉田本町
アジア・アフリカ地域研究 研究科 東南アジア地域研究専攻 博士課程 アフリカ地域研究専攻 博士課程 グローバル地域研究専攻 博士課程	5 5 5 5	10 12 8		博士 (地域研究) ただし、 修士(地域研究) の授与も可能	1.32 1.06 1.12	平成10年度 平成10年度 平成21年度	京都市左京区 吉田下阿達町46
情報学研究科 知能情報学専攻 博士課程 博士前期課程 博士後期課程 社会情報学専攻 博士課程 博士前期課程 博士後期課程 先端数理科学専攻 博士課程 博士前期課程 博士後期課程 数理工学専攻 博士課程 博士前期課程 博士後期課程 システム科学専攻 博士課程 博士前期課程 博士後期課程 通信情報システム専攻 博士課程 博士前期課程 博士後期課程	5 2 3 5 2 3 5 2 3 5 2 3 5 2 3 5 2 3 5 2 3 5 2 3	37 15 36 14 20 6 22 6 32 8 42 11		修士(情報学) 博士(情報学)	1.17 1.17 1.16 0.97 0.90 0.38 1.04 1.16 1.21 1.04 1.08 0.48	平成10年度 平成10年度 平成10年度 平成10年度 平成10年度	京都市左京区 吉田本町
生命科学研究所 統合生命科学専攻 博士課程 博士前期課程 博士後期課程 高次生命科学専攻 博士課程 博士前期課程 博士後期課程	5 2 3 5 2 3	40 19 35 14		修士 (生命科学) 博士 (生命科学)	0.93 0.75 1.06 0.99	平成11年度 平成11年度	京都市左京区 吉田近衛町
総合生存学館 総合生存学専攻 博士課程	5	20		博士 (総合学術) ただし、 修士(総合学術) の授与も可能	0.70	平成25年度	京都市左京区 吉田中阿達町1
地球環境学舎 地球環境学専攻 博士課程 博士後期課程	3	13		修士 (地球環境学) 博士 (地球環境学)	1.12	平成14年度	京都市左京区 吉田本町

況	環境マネジメント専攻 博士課程	5					平成14年度	
	博士前期課程	2	44	-	88		1.17	
	博士後期課程	3	7	-	21		1.09	
	公共政策教育部 公共政策専攻 専門職学位課程	2	40	-	80		1.03	京都市左京区 吉田本町 平成18年度
況	経営管理教育部 経営科学専攻 博士課程							京都市左京区 吉田本町 平成28年度
	博士後期課程 経営管理専攻 専門職学位課程	3	7	-	21		0.99	
		2	100	-	200		1.05	平成18年度

附	<p>名称 化学研究所 目的 化学に関する特殊事項の学理及びその応用の研究を行う。 所在地 宇治市五ヶ庄 設置年月日 大正15年10月開設 規模等 土地：宇治団地、建物 31,077㎡</p> <p>名称 人文科学研究所 目的 世界文化に関する人文科学の総合研究を行う。 所在地 京都市左京区吉田本町 設置年月日 昭和14年8月開設 規模等 土地：本部構内、建物 9,746㎡</p> <p>名称 ウイルス・再生医科学研究所 目的 ウイルス学及び再生医科学に関する学理及びその応用の研究を行う。 所在地 京都市左京区聖護院川原町53 設置年月日 平成28年10月開設 規模等 土地：病院構内、建物 23,146㎡</p> <p>名称 エネルギー理工学研究所 目的 エネルギーの生成、変換及び利用の高度化に関する研究を行う。 所在地 宇治市五ヶ庄 設置年月日 昭和16年11月開設 規模等 土地：宇治団地、建物 20,942㎡</p> <p>名称 生存圏研究所 目的 生存圏科学に関する研究及び人材育成を行う。 所在地 宇治市五ヶ庄 設置年月日 昭和19年5月開設 規模等 土地：宇治団地、建物 15,812㎡</p> <p>名称 防災研究所 目的 災害に関する学理の研究及び防災に関する総合研究を行う。 所在地 宇治市五ヶ庄 設置年月日 昭和26年4月開設 規模等 土地：宇治団地、建物 48,676㎡</p> <p>名称 基礎物理学研究所 目的 素粒子論その他の基礎物理学に関する研究を行う。 所在地 京都市左京区北白川追分町 設置年月日 昭和28年8月開設 規模等 土地：北部団地、建物 5,448㎡</p> <p>名称 経済研究所 目的 産業経済に関する総合研究を行う。 所在地 京都市左京区吉田本町 設置年月日 昭和37年4月開設 規模等 土地：本部構内、建物 4,912㎡</p> <p>名称 数理解析研究所 目的 数理解析に関する総合研究を行う。 所在地 京都市左京区北白川追分町 設置年月日 昭和38年4月開設 規模等 土地：北部団地、建物 4,569㎡</p> <p>名称 複合原子力科学研究所 目的 原子炉による実験及びこれに関連する研究を行う。 所在地 大阪府泉南郡熊取町朝代西二丁目 設置年月日 昭和38年4月開設 規模等 土地：383,078㎡、建物 23,597㎡</p> <p>名称 霊長類研究所 目的 霊長類に関する総合研究を行う。 所在地 犬山市官林41-2 設置年月日 昭和42年6月開設 規模等 土地：826,656㎡、建物 11,697㎡</p> <p>名称 東南アジア地域研究研究所 目的 東南アジアを中心とした世界諸地域に関する総合研究を行う。 所在地 京都市左京区吉田下阿達町46 設置年月日 昭和40年4月開設 規模等 土地：病院構内、建物 7,397㎡</p>
属	

施

名称 iPS細胞研究所
目的 iPS細胞に関する学理及びその応用の研究を行う。
所在地 京都市左京区聖護院川原町53
設置年月日 平成22年4月開設
規模等 土地：病院構内、建物 23,262㎡

名称 学術情報メディアセンター
目的 情報基盤及び情報メディアの高度利用に関する研究開発を行い、教育研究等の高度化を支援する。また、情報環境機構の行う業務を支援する。
所在地 京都市左京区吉田本町
設置年月日 昭和44年4月開設
規模等 土地：本部構内、建物 9,730㎡

名称 生態学研究センター
目的 生態学・生物多様性科学に関する研究を行う。
所在地 大津市平野2丁目509-3
設置年月日 平成3年4月開設
規模等 土地：47,969㎡、建物 4,610㎡

名称 野生動物研究センター
目的 野生動物に関する教育研究を行い、地球社会の調和ある共存に貢献する。
所在地 京都市左京区田中関田町2-24
設置年月日 平成20年4月開設
規模等 建物 4,685㎡

名称 高等教育研究開発推進センター
目的 高等教育における教授法、教育課程、教育評価、教育制度、ICT活用等の教育システムに係る研究、開発及び実践並びに京都大学の教育の改革及び改善について、専門的立場から調査、企画、実施及び評価し、それに基づく助言及び協力をを行う。また、実践的研究に基づく成果を、京都大学の教育の質の向上に供し、及びその発信等により国内外の高等教育の発展に寄与する。
所在地 京都市左京区吉田二本松町
設置年月日 平成15年4月開設
規模等 土地：吉田南構内、建物 660㎡

名称 総合博物館
目的 学術標本資料の収集と収蔵、教育研究支援、研究成果の公開及び学術標本資料の解析、学術的評価、情報化等の調査研究及び研究資源アーカイブに関する各種資料の体系的な収集・保存・運用・これらに必要な調査研究を行う。
所在地 京都市左京区吉田本町
設置年月日 平成9年4月開設
規模等 土地：本部構内、建物 12,398㎡

設

名称 フィールド科学教育研究センター
目的 森林生態系、里域生態系及び海洋生態系をつなぐ現場教育とフィールド研究を行うとともに、学内及び国内外の共同利用に供する。
所在地 京都市左京区北白川追分町
設置年月日 平成15年4月開設
規模等 土地：北部団地、建物 16,417㎡

名称 福井謙一記念研究センター
目的 ノーベル化学賞を受賞された福井謙一博士の研究理念を継承し、基礎化学及び関連する科学の諸分野に関する研究を進展させ、学術研究の向上を図る。
所在地 京都市左京区高野西開町34-4
設置年月日 平成14年4月開設
規模等 土地：3,306㎡、建物 2,493㎡

名称 こころの未来研究センター
目的 心理学、認知科学、脳科学、人文科学等の学際的研究拠点として、人のこころに関する総合的研究を行う。
所在地 京都市左京区吉田下阿達町46
設置年月日 平成19年4月開設
規模等 土地：病院構内、建物 1,798㎡

名称 高等研究院
目的 京都大学の特色及び強みを活かして国際的な最先端研究を展開することにより学術の発展及び人材育成を図るとともに、その研究による成果を社会に還元する。
所在地 京都市左京区吉田牛ノ宮町
設置年月日 平成28年4月開設
規模等 土地：西部構内、建物 7,701㎡

名称 学生総合支援センター
目的 学生等の修学上、適応上及び就労上の相談、苦情等への対応、就職支援及び障害のある学生の修学上等の支援等を行う。
所在地 京都市左京区吉田本町
設置年月日 平成25年8月開設
規模等 土地：本部構内、建物----㎡

の

名称 大学文書館
目的 公文書等の管理に関する法律（平成21年法律第66号）に基づく特定歴史公文書等その他京都大学の歴史に係る各種の資料の収集、整理、保存、閲覧及び調査研究を行う。
所在地 京都市左京区吉田河原町15-9
設置年月日 平成12年11月開設
規模等 土地：2,501㎡、建物----㎡

概	<p>名称 アフリカ地域研究資料センター 目的 アフリカ地域の学術情報に関する国際学術誌の編集発行、図書・地理情報・動植物標本・民族資料等の収集・整理・公開、公開研究会及び公開シンポジウムの開催、国際学術協定等に基づく研究交流の推進、関連研究機関との情報交換を行う。 所在地 京都市左京区吉田下阿達町46 設置年月日 平成8年4月開設 規模等 土地：病院構内、建物----㎡</p>
	<p>名称 白眉センター 目的 次世代研究者育成支援事業の企画運営を行うとともに、同事業により雇用する教員の受入部局との協議調整その他次世代研究者育成支援事業の円滑な実施に関し必要な事項を処理する。 所在地 京都市左京区吉田本町 設置年月日 平成21年9月開設 規模等 土地：本部構内、建物----㎡</p>
	<p>名称 学際融合教育研究推進センター 目的 学際的な教育研究を推進するための支援を行う。 所在地 京都市左京区吉田本町 設置年月日 平成22年3月開設 規模等 土地：本部構内、建物----㎡</p>
	<p>名称 学術研究支援室 目的 研究者の研究活動の支援を行うとともに、本学における学術研究の推進を図るため、高度な専門知識・経験を有する「リサーチ・アドミニストレーター（URA）」により、研究者が研究活動に専念できる環境を整備し、研究プロジェクトの企画・運営・研究成果の社会還元を支援する。 所在地 京都市左京区吉田本町 設置年月日 平成24年4月開設 規模等 土地：本部構内、建物----㎡</p>
	<p>名称 男女共同参画推進本部 目的 男女共同参画の推進に係る諸施策の企画立案及び実施、男女共同参画に係る調査及び分析その他男女共同参画の推進及び支援に関する業務を行う。 所在地 京都市左京区吉田本町 設置年月日 平成26年4月開設 規模等 土地：本部構内、建物----㎡</p>
	<p>名称 研究連携基盤 目的 研究所等の連携の強化及び支援、京都大学における学際的研究の推進及び支援、研究所等における研究者育成の推進及び支援に関する業務を行う。 所在地 京都市左京区聖護院川原町53 設置年月日 平成27年4月開設 規模等 土地：病院構内、建物----㎡</p>
	<p>名称 医学部附属病院 目的 教育、研究、診療を行う。 所在地 京都市左京区聖護院川原町54 設置年月日 明治32年12月開設 規模等 土地：病院構内、建物 128,172㎡</p>
	<p>名称 農学研究科附属農場 目的 学部学生・院生の農業及び農学実習の場として、主要作物から蔬菜、花卉、果樹に至るまで、種々の作物を対象とした遺伝的機能及び生産管理技術の開発などの教育・研究を行う。 所在地 木津川市城山台4丁目2-1 設置年月日 木津農場 平成28年4月開設、京都農場 大正13年5月開設 規模等 土地：246,186㎡、建物----㎡</p>
	<p>名称 農学研究科附属牧場 目的 和牛を100頭規模で飼育し、草資源の有効利用による安全な牛肉生産技術やエコフィードの開発に関する研究を行うとともに、動物飼養、草地管理、動物との触れ合いを通じた動物介在活動などについての実習教育の場を提供する。 所在地 京都府船井郡京丹波町富田蒲生野144-1 設置年月日 昭和49年4月開設 規模等 土地：156,245㎡、建物----㎡</p>
	<p>名称 附属図書館 目的 図書、雑誌、電子ジャーナル、視聴覚機器を供し、教育研究を支援する。 所在地 京都市左京区吉田本町 設置年月日 明治32年12月開設 規模等 土地：吉田構内、建物 12,861㎡</p>

(注)

- 1 共同学科等の認可の申請及び届出の場合、「計画の区分」、「新設学部等の目的」、「新設学部等の概要」、「教育課程」及び「教員組織の概要」の「新設分」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 2 「教員組織の概要」の「既設分」については、共同学科等に係る数を除いたものとする。
- 3 私立の大学又は高等専門学校収容定員に係る学則の変更の届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「教室等」、「専任教員研究室」、「図書・設備」、「図書館」及び「体育館」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 4 大学等の廃止の認可の申請又は届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「校地等」、「校舎」、「教室等」、「専任教員研究室」、「図書・設備」、「図書館」、「体育館」及び「経費の見積もり及び維持方法の概要」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 5 「教育課程」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。
- 6 空欄には、「-」又は「該当なし」と記入すること。

教育課程等の概要（国際連携学科等）

（経済学研究科 京都大学国際連携グローバル経済・地域創造専攻（修士課程））

科目区分	授業科目の名称	共同開設科目	配当年次	開設大学	単位数		授業形態			教員等の配置										備考				
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	申請大学					連携外国大学								
											教授	准教授	講師	助教	助手	小計	専任教員当	准教授に相当	講師に相当		助教授に相当	助手に相当	小計	合計
グローバル経済入門	The Globalised Economy Global Varieties of Capitalism		1W 1W	グラスゴー大学 グラスゴー大学	3.5 3.5		○ ○					1 1							2 2	1 2	1 4	集中 オムニバス 共同（一部） ゲッティンゲン大学および 京都大学教員が提供。 3週間の集中講義（最大1 回2時間、週3回の授業を 実施）。		
グローバル経済専門 I	Globalisation and Labour Technology Transfer in the Global Economy		1W 1W	グラスゴー大学 グラスゴー大学	3 3		○ ○									1 1					1 2	1 2	オムニバス 共同（一部）	
重点分野基礎 I	Latin American Development from Independence to the Present		1W	グラスゴー大学	3		○									1					1	1		
重点分野応用 I	Innovation in the Middle East and North Africa		1W	グラスゴー大学	3		○									1					1	1		
	小計（6科目）		—		7	12	0	—			1	0	1	0	0	2	1	2	5	0	0	8	10	
クリエイティブ企業・産業	Companies in Emerging Sectors Creative Cities: Intervention Models and Entrepreneurial Dynamics Family Business: Innovation and Globalisation Port Cities in Historical Perspective		1S 1S 1S 1S	バルセロナ大学 バルセロナ大学 バルセロナ大学 バルセロナ大学	1 2 1 4		○ ○ ○ ○										1 1 1				1 1 1 3	1 1 1 3	集中 オムニバス エラスムス・ロッテルダム大学 教員が提供。 3カ月間の集中講義（1回2 時間の講義に加え、フィールド ワーク、学生によるプレゼンテ ーションを実施）。	

科目区分	授業科目の名称	共同開設科目	配当年次	開設大学	単位数		授業形態		教員等の配置														備考			
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	申請大学					連携外国大学										
											教授	准教授	講師	助教	助手	小計	す教 授に 相 員 当	す准 教 授に 相 員 当	す講 師に 相 員 当	す助 教に 相 員 当	す助 手に 相 員 当	小計		合計		
グローバル経済専門Ⅱ	Global Health		1S	バルセロナ大学	2		○										1							1	1	
	Topics in International Economics		1S	バルセロナ大学	2		○										1							1	1	
	Topics in International Politics		1S	バルセロナ大学	2		○											1						1	1	
重点分野基礎Ⅱ	Quantitative Analysis for International Business		1S	バルセロナ大学	1		○											1						1	1	
重点分野応用Ⅱ	Conflict Management in Negotiation		1S	バルセロナ大学	1		○													1				1	1	
キャリアトレーニング	Practicum (Consultancy Project)		1S	バルセロナ大学	4			○									1							1	1	
	Institutional or Company Placement		1S	バルセロナ大学	4				○								1							1	1	
	小計 (11科目)		—		8	16	0		—		0	0	0	0	0	0	5	5	1	1	0		12	12		
産業ダイナミクス・サステイナビリティ	Economic Development and Policy in the Asia-Pacific		2W	京都大学	2		○				3		2			5								5	オムニバス	
	Industries and Global Competition		2W	京都大学	2		○				2				2									2	オムニバス	
	International Development Assistance Policy		2W	京都大学	2		○						1		1									1		
産業ダイナミクス・サステイナビリティ実習	On-site Research Training A		2W	京都大学	2		※		○		3		3		6									6	※講義	
	On-site Research Training B		2S	京都大学	2		※		○		3		3		6									6	集中 オムニバス	
重点分野基礎Ⅲ	Economic History Readings A		2W	京都大学	2		○				3		1		4									4	オムニバス	
	Economic History Readings B		2W	京都大学	2		○				3		1		4									4	A、Bを隔年開講	
	Comparative Business Ethics		2S	京都大学	2		○						1		1									1		
重点分野応用Ⅲ	Critical Consumption Studies		2W	京都大学	2		○				1		1		2									2	オムニバス	
	International Political Economy of Agriculture		2W	京都大学	2		○				1				1									1		
	International Agribusiness Studies		2S	京都大学	2		○				1				1									1		
重点分野上級	Historical Approaches to Business and Economics A		2W	京都大学	1		○				1				1									1	集中	
	Historical Approaches to Business and Economics B		2W	京都大学	1		○				1				1									1	A、Bを隔年開講	
	Business History & Industry Studies Readings A		2S	京都大学	2		○				3				3									3	オムニバス	
	Business History & Industry Studies Readings B		2S	京都大学	2		○				3				3									3	A、Bを隔年開講	

科目区分	授業科目の名称	共同開設科目	配当年次	開設大学	単位数		授業形態		教員等の配置														備考			
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	申請大学					連携外国大学										
											教授	准教授	講師	助教	助手	小計	す教する教員	す准教授に相当する教員	す講師に相当する教員	す助する教員	す助手に相当する教員	小計		合計		
研究スキル	Advanced Academic Writing & Presentation		2W	京都大学	2			○	※	1		2				3									3	※演習集中 オムニバス 講義を主とするが、開講期間を通じて原稿執筆や発表練習など実践的な授業（演習）を適宜組み込む。
	Qualitative Research Methods		2W	京都大学	2			○							0										0	兼1
研究 I	Master Thesis Design		2W	京都大学	2				○	6	1	2				9									9	
	小計（18科目）		—		2	32	0		—	6	1	3	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	10		
研究 II	Master Thesis Research	○	2S	京都大学、 グラスゴー大学、 バルセロナ大学	10				○	6	1	2			9	4	2	3						9	26	京都大学教員が主指導教員（1または2名）、グラスゴー大学・バルセロナ大学教員（各1名）が第1・第2副指導教員になる。 上段：グラスゴー大学教員、 下段：バルセロナ大学教員数を記載。
	小計（1科目）		—		10	0	0		—	6	1	2	0	0	9	7	6	3	1	0	0	17	26			
合計（36科目）					27	60	0		—	6	1	3	0	0	10	9	8	6	1	0	24	34				
学位又は称号		修士（グローバル経済・地域創造）			学位又は学科の分野					経済学関係																
卒業要件及び履修方法					開設大学等		開設単位数(必修)			授業期間等																
(修了要件) ・グラスゴー大学とバルセロナ大学の各大学を拠点とした1学期以上、および京都大学を拠点とした1年以上の学修を含み、本専攻に2年以上在学すること。 ・3大学の指導教員が連携して行う研究指導を受け、3大学の教員が合同で行う修士論文の審査および試験に合格すること。 (履修方法) ・グラスゴー大学およびバルセロナ大学での提供科目からそれぞれ10単位以上、京都大学の提供科目から共同設置科目「Master Thesis Research」による10単位を含む20単位以上を、指定の方法により修得すること。 ・科目区分「産業ダイナミクス・サステイナビリティ」の3科目については、同区分より2科目以上を選択し履修すること（選択必修）。 ・科目区分「産業ダイナミクス・サステイナビリティ実習」の2科目については、A又はBのいずれかを履修すること（選択必修）。いずれも、フィールドワークを1学期中に3回、各フィールドワークの前に講義を実施する。					京都大学		34 (2)		1学年の学期区分			京都大学	2期		グラスゴー大学	2期		バルセロナ大学	2期							
					グラスゴー大学		19 (7)		1学期の授業期間				15週			11週			14週							
					バルセロナ大学		24 (8)		1時限の授業時間				90分			120分*1			180分*2							
					共同開設科目		10 (10)			※1 The Globalised Economy は60分 ※2 授業によって各回の時間数が120分から240分までばらつきがあるため、全授業の1学期間総時間数の平均を14週で割り、1回あたりの時間数を算出。ただし、Port Cities in Historical Perspective (集中)、Practicum (Consultancy Project) 及び Institutional or Company Placement は変則的内容・時間割となる。3科目とも1学期間の総合学習時間数は250時間。																

- (注)
- 国際連携学科等を設置する場合は、別記様式第2号（その2の1）に代えて、この書類を作成すること。加えて、国際連携学科等を設置する大学及び連携外国大学別にこの書類を作成すること。共同開設科目については、当該科目の単位を修得した場合に、単位を修得したとする大学の書類に含めること。
 - 私立の大学若しくは高等専門学校に属する学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合、大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は、この書類を作成する必要はない。
 - 開設する授業科目に応じて、適宜科目区分の枠を設けること。
 - 「授業形態」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。

教育課程等の概要(国際連携学科等)

(経済学研究科 京都大学国際連携グローバル経済・地域創造専攻(修士課程))(京都大学)

科目区分	授業科目の名称	共同開設科目	配当年次	開設大学	単位数					教員等の配置										備考				
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	申請大学					連携外国大学								
											教授	准教授	講師	助教	助手	小計	す教 授に 相 員 当	す准 教授 に 相 員 当	す講 師に 相 員 当		す助 教に 相 員 当	す助 手に 相 員 当	小計	合計
産業ダイナミクス・ サステイナビリティ	Economic Development and Policy in the Asia-Pacific		2W	京都大学	2		○				3	2				5							5	オムニバス
	Industries and Global Competition		2W	京都大学	2		○				2					2							2	オムニバス
	International Development Assistance Policy		2W	京都大学	2		○					1				1							1	
産業ダイナミクス・ サステイナビリティ実習	On-site Research Training A		2W	京都大学	2		※		○		3	3				6							6	※講義 集中
	On-site Research Training B		2S	京都大学	2		※		○		3	3				6							6	オムニバス
重点分野基礎Ⅲ	Economic History Readings A		2W	京都大学	2		○				3	1				4							4	オムニバス
	Economic History Readings B		2W	京都大学	2		○				3	1				4							4	A、Bを隔年開講
	Comparative Business Ethics		2S	京都大学	2		○					1				1							1	
重点分野応用Ⅲ	Critical Consumption Studies		2W	京都大学	2		○				1	1				2							2	オムニバス
	International Political Economy of Agriculture		2W	京都大学	2		○				1					1							1	
	International Agribusiness Studies		2S	京都大学	2		○				1					1							1	
重点分野上級	Historical Approaches to Business and Economics A		2W	京都大学	1		○				1					1							1	集中
	Historical Approaches to Business and Economics B		2W	京都大学	1		○				1					1							1	A、Bを隔年開講
	Business History & Industry Studies Readings A		2S	京都大学	2		○				3					3							3	オムニバス
	Business History & Industry Studies Readings B		2S	京都大学	2		○				3					3							3	A、Bを隔年開講
研究スキル	Advanced Academic Writing & Presentation		2W	京都大学	2		○		※		1	2				3							3	※演習 集中 オムニバス 講義を主とするが、開講期間を通じて原稿執筆や発表練習など実践的な授業(演習)を適宜組み込む。
	Qualitative Research Methods		2W	京都大学	2		○									0							0	兼1

科目区分	授業科目の名称	共同開設科目	配当年次	開設大学	単位数		授業形態		教員等の配置										備考						
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	申請大学					連携外国大学									
											教授	准教授	講師	助教	助手	小計	す教 授に 相 員 当	す准 教授 に相 員 当		す講 師に 相 員 当	す助 教に 相 員 当	す助 手に 相 員 当	小計	合計	
研究Ⅰ	Master Thesis Design		2W	京都大学	2				○		6	1	2			9								9	
	小計 (18科目)		—		2	32	0		—		6	1	3	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	10	
研究Ⅱ	Master Thesis Research	○	2S	京都大学、 グラスゴー大学、 バルセロナ大学	10				○		6	1	2			9	4	2	3				9	26	京都大学教員が主指導教員 (1または2名)、グラスゴー大 学・バルセロナ大学教員(各 1名)が第1・第2副指導 教員になる。 上段：グラスゴー大学教員、 下段：バルセロナ大学教員数 を記載。
	小計 (1科目)		—		10	0	0		—		6	1	2	0	0	9	3	4		1		8			
合計 (19科目)					12	32	0		—		6	1	3	0	0	10	7	6	3	1	0	17	27		
学位又は称号		修士 (グローバル経済・地域創造)			学位又は学科の分野					経済学関係															
卒業要件及び履修方法					開設大学等		開設単位数(必修)			授業期間等															
(修了要件) ・グラスゴー大学とバルセロナ大学の各大学を拠点とした1学期以上、および京都大学を拠点とした1年以上の学修を含み、本専攻に2年以上在学すること。 ・3大学の指導教員が連携して行う研究指導を受け、3大学の教員が合同で行う修士論文の審査および試験に合格すること。 (履修方法) ・グラスゴー大学およびバルセロナ大学での提供科目からそれぞれ10単位以上、京都大学の提供科目から共同設置科目「Master Thesis Research」による10単位を含む20単位以上を、指定の方法により修得すること。 ・科目区分「産業ダイナミクス・サステイナビリティ」の3科目については、同区分より2科目以上を選択し履修すること(選択必修)。 ・科目区分「産業ダイナミクス・サステイナビリティ実習」の2科目については、A又はBのいずれかを履修すること(選択必修)。いずれも、フィールドワークを1学期中に3回、各フィールドワークの前に講義を実施する。					京都大学		34 (2)			1学年の学期区分					京都大学	2期									
										1学期の授業期間						15週									
										1時限の授業時間						90分									
					共同開設科目		10 (10)																		

- (注)
- 国際連携学科等を設置する場合は、別記様式第2号(その2の1)に代えて、この書類を作成すること。加えて、国際連携学科等を設置する大学及び連携外国大学別にこの書類を作成すること。共同開設科目については、当該科目の単位を修得した場合に、単位を修得したとする大学の書類に含めること。
 - 私立の大学若しくは高等専門学校(収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合)、大学の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は、この書類を作成する必要はない。
 - 開設する授業科目に応じて、適宜科目区分の枠を設けること。
 - 「授業形態」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。

教育課程等の概要 (国際連携学科等)

(経済学研究科 京都大学国際連携グローバル経済・地域創造専攻 (修士課程))(グラスゴー大学)

科目区分	授業科目の名称	共同開設科目	配当年次	開設大学	単位数		授業形態		教員等の配置														備考				
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	申請大学							連携外国大学									
											教授	准教授	講師	助教	助手	小計	専任教授に相当する教員	准教授に相当する教員	講師に相当する教員	助教授に相当する教員	助手に相当する教員	小計		合計			
グローバル経済入門	The Globalised Economy		1W	グラスゴー大学	3.5			○																			集中 オムニバス 共同 (一部) ゲッティンゲン大学および 京都大学教員が提供。 3週間の集中講義 (最大1 回2時間、週3回の授業を 実施)。
	Global Varieties of Capitalism		1W	グラスゴー大学	3.5			○			1													2	4		
グローバル経済専門 I	Globalisation and Labour		1W	グラスゴー大学	3			○																1	1	オムニバス 共同 (一部)	
	Technology Transfer in the Global Economy		1W	グラスゴー大学	3			○																1	2		
重点分野基礎 I	Latin American Development from Independence to the Present		1W	グラスゴー大学	3			○																1	1		
重点分野応用 I	Innovation in the Middle East and North Africa		1W	グラスゴー大学	3			○																1	1		
	小計 (6科目)		—		7	12	0	—			1	0	1	0	0	2	1	2	5	0	0	0	8	10			
	合計 (6科目)		—		7	12	0	—			1	0	1	0	0	2	1	2	5	0	0	0	8	10			
学位又は称号		修士 (グローバル経済・地域創造)			学位又は学科の分野				経済学関係																		
卒業要件及び履修方法					開設大学等				開設単位数(必修)				授業期間等														
(修了要件) ・グラスゴー大学とバルセロナ大学の各大学を拠点とした1学期以上、および京都大学を拠点とした1年以上の学修を含み、本専攻に2年以上在学すること。 ・3大学の指導教員が連携して行う研究指導を受け、3大学の教員が合同で行う修士論文の審査および試験に合格すること。 (履修方法) ・グラスゴー大学およびバルセロナ大学での提供科目からそれぞれ10単位以上、京都大学の提供科目から共同設置科目「Master Thesis Research」による10単位を含む20単位以上を、指定の方法により修得すること。													1学年の学期区分														
					グラスゴー大学				19 (7)				1学期の授業期間														
													1時限の授業時間														
													※1 The Globalised Economy は60分														

(注)
 1 国際連携学科等を設置する場合は、別記様式第2号 (その2の1) に代えて、この書類を作成すること。加えて、国際連携学科等を設置する大学及び連携外国大学別にこの書類を作成すること。共同開設科目については、当該科目の単位を修得した場合に、単位を修得したとする大学の書類に含めること。
 2 私立の大学若しくは高等専門学校に属する学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合、大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は、この書類を作成する必要はない。
 3 開設する授業科目に応じて、適宜科目区分の枠を設けること。
 4 「授業形態」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。

教育課程等の概要 (国際連携学科等)

(経済学研究科 京都大学国際連携グローバル経済・地域創造専攻 (修士課程)) (バルセロナ大学)

科目区分	授業科目の名称	共同開設科目	配当年次	開設大学	単位数		授業形態		教員等の配置														備考			
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	申請大学					連携外国大学					小計	合計				
											教授	准教授	講師	助教	助手	小計	専任教員	専任教員に相当	講師に相当	助教に相当				助手に相当	小計	合計
クリエイティブ企業・産業	Companies in Emerging Sectors		1S	バルセロナ大学	1			○										1						1	1	集中 オムニバス エラスムス・ロッテルダム大学 教員が提供。 3カ月間の集中講義 (1回2 時間の講義に加え、フィールド ワーク、学生によるプレゼンテー ションを実施)。
	Creative Cities: Intervention Models and Entrepreneurial Dynamics		1S	バルセロナ大学	2			○										1						1	1	
	Family Business: Innovation and Globalisation		1S	バルセロナ大学	1			○										1						1	1	
	Port Cities in Historical Perspective		1S	バルセロナ大学	4			○										1	1	1				3	3	
グローバル経済専門Ⅱ	Global Health		1S	バルセロナ大学	2			○										1						1	1	
	Topics in International Economics		1S	バルセロナ大学	2			○										1						1	1	
	Topics in International Politics		1S	バルセロナ大学	2			○											1					1	1	
重点分野基礎Ⅱ	Quantitative Analysis for International Business		1S	バルセロナ大学	1			○										1						1	1	
重点分野応用Ⅱ	Conflict Management in Negotiation		1S	バルセロナ大学	1			○												1				1	1	
キャリアトレーニング	Practicum (Consultancy Project)		1S	バルセロナ大学	4			○										1						1	1	
	Institutional or Company Placement		1S	バルセロナ大学	4				○									1						1	1	
	小計 (11科目)		—		8	16	0	—			0	0	0	0	0	0	0	5	5	1	1	0	0	12	12	
小計 (11科目)			—		8	16	0	—			0	0	0	0	0	0	0	5	5	1	1	0	0	12	12	

学位又は称号	修士（グローバル経済・地域創造）	学位又は学科の分野	経済学関係						
卒業要件及び履修方法		開設大学等	開設単位数(必修)	授業期間等					
(修了要件) ・グラスゴー大学とバルセロナ大学の各大学を拠点とした1学期以上、および京都大学を拠点とした1年以上の学修を含み、本専攻に2年以上在学すること。 ・3大学の指導教員が連携して行う研究指導を受け、3大学の教員が合同で行う修士論文の審査および試験に合格すること。 (履修方法) ・グラスゴー大学およびバルセロナ大学での提供科目からそれぞれ10単位以上、京都大学の提供科目から共同設置科目「Master Thesis Research」による10単位を含む20単位以上を、指定の方法により修得すること。				1学年の学期区分				バルセロナ大学	2期
				1学期の授業期間					14週
		バルセロナ大学	24 (8)	1時限の授業時間					180分 ^{※2}
					※2 授業によって各回の時間数が120分から240分までばらつきがあるため、全授業の1学期間総時間数の平均を14週で割り、1回あたりの時間数を算出。ただし、Port Cities in Historical Perspective (集中)、Practicum (Consultancy Project) 及び Institutional or Company Placement は変則的内容・時間割となる。3科目とも1学期間の総合計学習時間数は250時間。				

(注)

- 1 国際連携学科等を設置する場合は、別記様式第2号（その2の1）に代えて、この書類を作成すること。加えて、国際連携学科等を設置する大学及び連携外国大学別にこの書類を作成すること。共同開設科目については、当該科目の単位を修得した場合に、単位を修得したとする大学の書類に含めること。
- 2 私立の大学若しくは高等専門学校¹の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合、大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は、この書類を作成する必要はない。
- 3 開設する授業科目に応じて、適宜科目区分の枠を設けること。
- 4 「授業形態」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。

教育課程等の概要															
(大学院経済学研究科経済学専攻 研究者養成プログラム)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎科目	上級ミクロ経済学	1・2前		4		○									兼2
	上級マクロ経済学	1・2後		4		○									兼2
	中級計量経済学	1・2後		2		○									兼1
	上級計量経済学	1・2後		2		○					1				
	中級統計学	1・2前		2		○									兼1
	上級統計学	1・2前		2		○									兼1
	経済学のための数学	1・2前		4		○									兼2
	史的分析概論	1・2後		2		○			1	1					
	経営学原理	1・2前		2		○									兼1
	経営学研究法	1・2前		2		○									兼1
	財務会計論A	1・2前		2		○			1						
	管理会計論A	1・2後		2		○									兼1
	Political Economy	1・2後		2		○									兼1
	世界経済史・経営史	1・2前		2		○			2						兼1
	経済変動論	1・2前		2		○			1						
	日本経済史・経営史	1・2前		2		○			2						
小計（16科目）		—	0	38	0	—			7	1	1	0	0	兼14	
専門科目	社会経済学・古典研究A	1・2前		2		○			1						
	社会経済学・古典研究B	1・2後		2		○			1						
	国際経営史	1・2前		2		○			1						
	計量経済学1	1・2前		2			○								兼1
	計量経済学2	1・2後		2			○								兼1
	意思決定論1	1・2後		2		○			1						
	意思決定論2	1・2前		2		○					1				
	国際マクロ経済学A	1・2前		2		○									兼1
	国際マクロ経済学B	1・2前		2		○									兼1
	数量マクロ経済分析1	1・2前		2			○								兼1
	数量マクロ経済分析2	1・2後		2			○								兼1
	実証マクロ経済分析	1・2後		2			○								兼1
	実証ミクロ経済分析	1・2前		2			○								兼1
	一般均衡理論	1・2後		2		○									兼1
	ゲーム理論	1・2後		2		○									兼1
	応用ゲーム理論	1・2後		2		○									兼1
	情報とインセンティブ	1・2後		2		○									兼1
	数値計算経済学1	1・2前		2		○									兼1
	ミクロ計量経済学	1・2前		2		○					1				
	金融とマクロ経済	1・2後		2		○			1						
産業経済学	1・2前		2		○			1							
応用経済学	1・2後		2		○			1							
比較制度・組織分析A	1・2前		2			○								兼1	
比較制度・組織分析B	1・2後		2			○								兼1	
国際経済学1	1・2前		2		○			1							
国際経済学2	1・2後		2		○			1							
交通経済学1	1・2前		2		○			1							

教育課程等の概要															
（大学院経済学研究科経済学専攻 研究者養成プログラム）															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	都市経済学	1・2前		2		○			1						兼1
	マーケティング経済論A	1・2前		2			○								
	ファイナンス工学1	1・2前		2		○					1				
	ファイナンス工学2	1・2後		2		○			1						
	ファイナンス工学特論A	1・2後		2		○			1						
	労働市場とマクロ経済学	1・2後		2		○				1					
	空間経済学	1・2後		2		○									兼1
	集積の経済学	1・2前		2		○									兼1
	経済地理学	1・2前		2		○									兼1
	開発経済学1	1・2後		2		○				1					
	開発経済学2	1・2前		2		○				1					
	公共経済学A	1・2後		2		○				1					
	公共経済学B	1・2後		2		○				1					
	人口動態とマクロ経済学	1・2前		2		○				1					
	ロシア東欧経済経営システム	1・2後		2			○								兼1
	アジア経済数量分析1	1・2前		2			○			1					
	アジア経済数量分析2	1・2後		2			○			1					
	現代中国経済分析1	1・2前		2			○			1					
	Readings on Institutional Economics	1・2後		2			○								兼1
	労働経済学A	1・2後		2		○				1					
	社会政策論1	1・2前		2			○			1					
	社会政策論2	1・2後		2			○			1					
	国際経済政策A	1・2後		2		○				1					
	国際経済政策B	1・2後		2		○				1					
	財政学	1・2後		2			○								兼1
	財政政策論	1・2後		2			○								兼1
	環境経済分析A	1・2前		2		○									兼1
	環境経済分析B	1・2後		2			○								兼1
	Readings on International Economics	1・2前		2			○								兼1
	アジア経済の実証研究	1・2前		2		○									兼1
	途上国経済論1	1・2前		2			○								兼1
	途上国経済論2	1・2後		2			○								兼1
	経済哲学	1・2後		2			○								兼1
アジア経済史A	1・2前		2			○								兼1	
現代経済思想史1	1・2前		2			○			1						
現代経済思想史2	1・2後		2			○			1						
国際会計論A	1・2前		2		○				1						
国際会計論B	1・2後		2		○				1						
財務会計論B	1・2後		2		○				1						
管理会計論B	1・2前		2			○								兼1	
会計文化論B	1・2後		2			○								兼1	
経営組織論	1・2前		2		○									兼1	
マーケティング論A	1・2後		2			○								兼1	
マーケティング論B	1・2後		2			○								兼1	
マーケティング・リサーチ	1・2後		2			○								兼1	
国際マーケティング	1・2前		2		○									兼1	

教育課程等の概要														
(大学院経済学研究科経済学専攻 研究者養成プログラム)														
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門	事業創成会計論A	1・2前		2			○							兼1
	事業創成会計論B	1・2後		2			○							兼1
	ITビジネス論1	1・2後		2			○							兼1
	グローバル・ビジネスA	1・2後		2			○							兼1
	グローバル・ビジネスB	1・2後		2			○							兼1
	人的資源管理論	1・2前		2			○							兼1
	組織情報通信システムA	1・2後		2		○								兼1
	組織情報通信システムB	1・2後		2		○								兼1
	Corporate Strategy and Organization	1・2後		2			○							兼1
	組織文化論	1・2後		2			○							兼1
	コーポレートファイナンス	1・2後		2		○								兼1
	イノベーション・マネジメント	1・2後		2		○								兼1
	Strategic Management	1・2前		2		○								兼1
	科目	数理ファイナンス	1・2前		2		○							
デリバティブ論		1・2後		2		○								兼1
Firms & Industrial Organization in Japan		1・2後		2		○								兼2
International Agribusiness Studies		1・2前		2		○			1					
International Political Economy of Agriculture		1・2後		2		○			1					
価格理論		1・2後		2		○								兼1
経済動学		1・2後		2		○								兼1
社会思想史		1・2前		2			○			1				
比較社会思想史		1・2後		2			○			1				
社会経済史リーディングA		1・2前		2			○			3				
社会経済史リーディングB		1・2前		2			○			3				
経営史・産業論リーディングA		1・2後		2		○				3				
経営史・産業論リーディングB		1・2後		2		○				3				
Economic History Readings A		1・2後		2			○			3		1		
Economic History Readings B	1・2後		2			○			3		1			
目	Business History & Industry Studies Readings A	1・2前		2			○			3				
	Business History & Industry Studies Readings B	1・2前		2			○			3				
	Economic & Business History	1・2後		2		○				3		2		
	現代経済理論	1・2後		2			○			1				
	技術と進化の経済動学	1・2後		2			○			1				
	応用マクロ経済分析	1・2前		2		○				1				
	統計データ分析基礎A	1・2前		2		○					1			
	統計データ分析応用A	1・2後		2		○					1			
	比較経済学	1・2前		2			○							兼1
	統計データ分析基礎B	1・2前		2		○								兼1
	統計データ分析応用B	1・2後		2		○								兼1
	実証産業組織論	1・2後		2			○					1		
	Readings in Global Economic History	1・2前		2		○						1		
	小計(114科目)		—	0	228	0		—		21	6	5	0	0

教育課程等の概要														
(大学院経済学研究科経済学専攻 研究者養成プログラム)														
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
大学院共通科目	研究倫理・研究公正（人社系）	1・2前	0.5			○								兼3
	アントレプレナーシップ入門	1・2前		0.5		○								兼1
	学術研究のための情報リテラシー基礎	1・2前		0.5		○								兼4
	データ科学：理論から実用へⅠ	1・2前		1		○								兼1
	データ科学：理論から実用へⅡ	1・2前		1		○								兼1
	大学院生のための英語プレゼンテーション	1・2前		1			○							兼1
	アカデミックプレゼンテーション（上級）	1・2前後		2			○							兼1
	アカデミックプレゼンテーション	1・2前後		2			○							兼1
	アカデミックディスカッション	1・2前後		2			○							兼1
	小計（9科目）	—		0.5	10	0		—		0	0	0	0	0
特別研究			8				○		21	6	8	0	0	兼27
小計（1科目）	—		8	0	0		—		21	6	8	0	0	兼27
合計（140科目）		—	8.5	276	0		—		21	6	8	0	0	兼50
学位又は称号	修士（経済学）		学位又は学科の分野			経済学関係								
卒業要件及び履修方法						授業期間等								
（修了要件） 本研究科に2年以上在学して、研究指導を受け、修了に必要な単位数30単位以上を修得し、かつ、修士論文の審査及び試験に合格すること。 （履修方法） 以下の科目区分の授業科目からそれぞれ必要な単位数を修得する。 ・基礎科目：6単位以上 ・専門科目：10単位以上 ・大学院共通科目：4単位まで 以上から計：22単位以上 ・特別研究：8単位 合計：30単位以上						1学年の学期区分				2期				
						1学期の授業期間				15週				
						1時限の授業時間				90分				

- (注)
- 1 学部等、研究科等若しくは高等専門学校等の学科の設置又は大学における通信教育の開設の届出を行おうとする場合には、授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等、研究科等若しくは高等専門学校等の学科（学位の種類及び分野の変更等に関する基準（平成十五年文部科学省告示第三十九号）別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。）についても作成すること。
 - 2 私立の大学若しくは高等専門学校等の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合、大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は、この書類を作成する必要はない。
 - 3 開設する授業科目に応じて、適宜科目区分の枠を設けること。
 - 4 「授業形態」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。

教育課程等の概要															
（大学院経済学研究科経済学専攻 高度専門人材養成プログラム）															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎科目	経済の歴史と制度	1・2後		2		○			2						
	ミクロ経済分析	1・2前		2		○			1						
	マクロ経済分析	1・2後		2		○				1					
	グループワーク	1後	2				○		2		1				
	中級計量経済学	1・2後		2		○									兼1
	中級統計学	1・2前		2		○									兼1
	統計データ分析基礎A	1・2前		2		○				1					
	統計データ分析基礎B	1・2前		2		○									兼1
小計（8科目）	—	—	2	14	0				4	2	1	0	0	兼3	
専門コア科目	International Development Assistance Policy	1・2後		2		○					1				
	ファイナンスのための数値計算	1・2後		2			○		1						
	金融経済分析の基礎	1・2前		2		○			1						
	ゲームと情報の経済学	1・2後		2		○					1				兼1
	国際政治経済分析	1・2後		2			○								
	応用ミクロ計量分析	1・2後		2		○					1				
	Firms & Industrial Organization in Japan	1・2後		2		○									兼2
	統計データ分析応用A	1・2後		2		○				1					
統計データ分析応用B	1・2後		2		○									兼1	
小計（9科目）	—	—	0	18	0				2	1	3	0	0	兼4	
専門科目	公共政策論	1・2前		2		○									兼1
	Comparative Business Ethics	1・2前		2		○					1				
	Political Economy	1・2後		2		○									兼1
	産業経済学	1・2前		2		○			1						
	ファイナンス工学1	1・2前		2		○					1				
	ファイナンス工学2	1・2後		2		○			1						
	開発経済学1	1・2後		2		○				1					
	公共経済学A	1・2後		2		○				1					
	現代中国経済分析1	1・2前		2			○		1						
	国際経済政策A	1・2後		2		○			1						
	国際経済政策B	1・2後		2		○			1						
	財政学	1・2後		2			○								兼1
	財政政策論	1・2後		2			○								兼1
	環境経済分析A	1・2前		2		○									兼3
	環境経済分析B	1・2後		2			○								兼1
	マーケティング・リサーチ	1・2後		2			○								兼1
	コーポレートファイナンス	1・2後		2		○									兼1
	イノベーション・マネジメント	1・2後		2		○									兼1
	Strategic Management	1・2前		2		○									兼1
	数理ファイナンス	1・2前		2		○									兼1
	デリバティブ論	1・2後		2		○									兼1
	Economic & Business History	1・2後		2		○			3		2				
小計（22科目）	—	—	0	44	0				7	2	3	0	0	兼10	

教 育 課 程 等 の 概 要															
（大学院経済学研究科経済学専攻 高度専門人材養成プログラム）															
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験 ・ 実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
特 別 講 義	現代マーケティング	1・2後		2		○									兼1
	会計監査論	1・2前		2		○									兼1
	投資銀行業務とグローバル戦略	1・2前		2		○									兼1
	経済情報調査論	1・2後		2		○						1			
	地域主導再生可能エネルギー事業とキャリア	1・2前		2		○									兼2
	企業価値創造と評価	1・2前		2		○									兼1
	ビジネスエシックス	1・2後		2		○									兼3
	企業金融のフロンティア	1・2前		2		○									兼1
	企業金融とマネジメント	1・2後		2		○									兼1
	金融資本市場論	1・2後		2		○									兼1
	M&A実践論	1・2前		2		○									兼1
	ツーリズム産業論	1・2前		2		○									兼1
	科学技術・イノベーション政策概論	1・2前		2		○									兼1
	科学技術・イノベーションと大学	1・2後		2		○									兼1
	環境・エネルギーの国際政策論	1・2前		2		○									兼1
	通商政策概論	1・2後		2		○									兼1
	バリエーション	1・2後		2		○									兼1
	ベンチャー・エコシステム	1・2前		2		○									兼1
	プライベート・エクイティファンドと企業価値向上	1・2後		2		○									兼1
	金融リテラシー	1・2後		2		○									兼1
	資本市場とデジタル社会	1・2後		2		○									兼1
	国際財政論	1・2前		2		○									兼2
	金融理論と実際の金融市場	1・2前		2		○									兼1
	国土交通政策論	1・2前		2		○									兼1
	インフラ整備の政策分析	1・2後		2		○									兼1
小計（25科目）		—	0	50	0	—			0	0	0	1	0	兼17	
大 学 院 共 通 科 目	研究倫理・研究公正（人社系）	1・2前	0.5			○								兼3	
	アントレプレナーシップ入門	1・2前		0.5		○								兼1	
	学術研究のための情報リテラシー基礎	1・2前		0.5		○								兼4	
	データ科学：理論から実用へⅠ	1・2前		1		○								兼1	
	データ科学：理論から実用へⅡ	1・2前		1		○								兼1	
	大学院生のための英語プレゼンテーション	1・2前		1				○						兼1	
	アカデミックプレゼンテーション（上級）	1・2前後		2				○						兼1	
	アカデミックプレゼンテーション	1・2前後		2				○						兼1	
	アカデミックディスカッション	1・2前後		2				○						兼1	
小計（9科目）		—	0.5	10	0	—			0	0	0	0	0	兼14	

教 育 課 程 等 の 概 要

（大学院経済学研究科経済学専攻 高度専門人材養成プログラム）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
シ ョ ー ッ ブ ク 文	修士論文ワークショップ1	2前	2				○		4	1					兼1
	修士論文ワークショップ2	2後	2				○		4	1					兼1
	小計（2科目）	—	4	0	0		—		4	1	0	0	0		兼1
合計（75科目）		—	6.5	136	0		—		15	4	5	1	0		兼41
学位又は称号		修士（経済学）			学位又は学科の分野			経済学関係							
卒業要件及び履修方法							授業期間等								
（修了要件） 本研究科に2年以上在学して、研究指導を受け、修了に必要な単位数30単位以上を修得し、かつ、修士論文の審査及び試験に合格すること。 （履修方法） 以下の科目区分の授業科目からそれぞれ必要な単位数を修得する。 ・基礎科目：10単位以上 ・専門コア科目・専門科目：6単位以上（うち専門コア科目4単位以上） ・大学院共通科目：5単位まで ・特別講義：上下限なし 以上から計：26単位以上（英語による授業科目4単位以上含む） ・修士論文ワークショップ：4単位 合計：30単位以上							1学年の学期区分		2期						
							1学期の授業期間		15週						
							1時限の授業時間		90分						

（注）

- 1 学部等、研究科等若しくは高等専門学校等の学科の設置又は大学における通信教育の開設の届出を行おうとする場合には、授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等、研究科等若しくは高等専門学校等の学科（学位の種類及び分野の変更等に関する基準（平成十五年文部科学省告示第三十九号）別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。）についても作成すること。
- 2 私立の大学若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合、大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は、この書類を作成する必要はない。
- 3 開設する授業科目に応じて、適宜科目区分の枠を設けること。
- 4 「授業形態」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。

教育課程等の概要															
（大学院経済学研究科経済学専攻 東アジア持続的経済発展研究コース）															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
Core (Basic Courses)	Comparative Business Ethics	1・2S		2		○					1				兼1 兼3
	Political Economy	1・2W		2		○									
	Introduction to East Asian Economies	1・2W		2		○			1						兼1 兼1 兼1
	Introduction to Field Research Methods	1・2S		2		○					1				
	Academic Writing and Discussion	1・2W		2		○					1				兼1 兼1 兼1
	Qualitative Research Methods	1・2W		2		○									
	Political Economy of Governance	1・2W		2		○			1						兼1 兼1 兼1
	Quantitative Research Methods	1・2W		2		○									
	Development Economics : Core	1・2W		2		○				1					兼2
	Firms & Industrial Organization in Japan	1・2W		2		○									
	On-site Research Training A	1・2W	2					○	3		3				兼1
	On-site Research Training B	1・2S	2					○	3		3				
	Microeconomics	1・2S		2		○									兼1
	Macroeconomics	1・2S		2		○			1						
	Accounting	1・2S		2		○									兼1
小計（15科目）		—	4	26	0	—			5	1	3	0	0	兼11	
Advanced (Courses)	International Development Assistance Policy	1・2W		2		○					1			兼1	
	Development Economics: Advanced	1・2S		2		○				1					
	Econometric Analysis of Asian Economies	1・2S		2		○			1					兼1 兼1 兼1 兼1 兼1	
	Econometric Analysis of Developing Economies	1・2W		2		○			1						
	Analysis of Contemporary Chinese Economy 1	1・2S		2		○			1					兼1 兼1 兼1 兼1 兼1	
	Readings on Institutional Economic Social Policy 1	1・2W		2		○									
	International Economic Policy A	1・2S		2		○			1					兼1 兼1 兼1 兼1 兼1	
	Sustainable Development Studies	1・2W		2		○									
	Readings on International Economics	1・2S		2		○								兼1 兼1 兼1 兼1 兼1	
	Study of Developing Economies	1・2S		2		○									
	Study of Emerging Economies	1・2W		2		○								兼1 兼1 兼1 兼1	
	Corporate Strategy and Organization	1・2W		2		○									
	Strategic Management	1・2S		2		○								兼1 兼1 兼1 兼1	
	International Agribusiness Studies	1・2S		2		○			1						
	International Political Economy of Agriculture	1・2W		2		○			1					兼1 兼1 兼1 兼1	
Historical Approaches to Business and Economics A	1・2W		1		○			1							
Historical Approaches to Business and Economics B	1・2W		1		○			1					兼1 兼1 兼1 兼1		
Economic History Readings A	1・2W		2				○	3		1					
Economic History Readings B	1・2W		2				○	3		1			兼1 兼1 兼1 兼1		
Business History & Industry Studies Readings A	1・2S		2				○	3							
Business History & Industry Studies Readings B	1・2S		2				○	3							

教 育 課 程 等 の 概 要														
（大学院経済学研究科経済学専攻 東アジア持続的経済発展研究コース）														
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
A d v a n c e d C o u r s e s A	Economic & Business History	1・2W		2		○			3		2			
	Readings in Global Economic History	1・2S		2		○					1			
	Comparative Development Studies	1・2W		2		○			1					兼2
	Geopolitical Economy of Development	1・2S		2		○								兼1
	Sustainable Industry Development	1・2W		2		○			1		1			兼1
	Multiple Perspectives on Management	1・2S		1		○			1					兼1
	Advanced Econometrics	1・2S		2		○			1					兼1
	Organizational Behavior	1・2S		2		○			1					兼1
	Critical Food Studies	1・2W		1		○			1					兼1
	Critical Consumption Studies	1・2W		2		○			1		1			
	Overseas Field Research	1・2WS		2		○			1		2			
	Internship	1・2WS		2		○					1			
	Corporate Finance and Capital Markets	1・2S		2		○								兼1
	Governance and Ethics	1・2S		2		○								兼1
小計（36科目）	—	0	68	0	—	—	—	—	9	1	3	0	0	兼13
Thesis Research	2WS	8				○			21	6	8	0	0	兼27
小計（1科目）	—	8	0	0	—	—	—	—	21	6	8	0	0	兼27
合計（52科目）	—	12	94	0	—	—	—	—	21	6	8	0	0	兼31
学位又は称号	修士（経済学）		学位又は学科の分野				経済学関係							
卒業要件及び履修方法							授業期間等							
（修了要件） 本研究科に2年以上在学して、研究指導を受け、修了に必要な単位数30単位以上を修得し、かつ、修士論文の審査及び試験に合格すること。 （履修方法） 以下の科目区分の授業科目からそれぞれ必要な単位数を修得する。 ・ Core (Basic) Courses：10単位以上 ・ Advanced Courses A：12単位以上 ・ Thesis Research：8単位 合計：30単位以上							1学年の学期区分			2期				
							1学期の授業期間			15週				
							1時限の授業時間			90分				

（注）

- 学部等、研究科等若しくは高等専門学校等の学科の設置又は大学における通信教育の開設の届出を行おうとする場合には、授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等、研究科等若しくは高等専門学校等の学科（学位の種類及び分野の変更等に関する基準（平成十五年文部科学省告示第三十九号）別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。）についても作成すること。
- 私立の大学若しくは高等専門学校等の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合、大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は、この書類を作成する必要はない。
- 開設する授業科目に応じて、適宜科目区分の枠を設けること。
- 「授業形態」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。

授業科目の概要（国際連携学科等）

（経済学研究科 京都大学国際連携グローバル経済・地域創造専攻（修士課程））

科目区分	開設大学	授業科目の名称	講義等の内容	備考
グローバル経済入門	グラスゴー大学	The Globalised Economy	本授業はグローバル市場の特徴と発展、およびグローバリゼーションや関連する経済理論について概説する。グローバリゼーションによる変化やその影響を国・地域別に比較分析し、ミクロおよびマクロレベルで、関連する様々な組織やグローバリゼーションがもたらす多様な影響を考察する。これにより、グローバリゼーションの経済的要因・影響だけでなく、社会的・政治的・文化的側面について学生の理解を深める。 授業評価は、レポートに基づいて行う。	
	グラスゴー大学	Global Varieties of Capitalism	本授業は比較政治経済学アプローチの一つ「Varieties of Capitalism（資本主義の多様性）」について概説する。参考文献・授業での討論を通して、当アプローチの理論的枠組み、特に経済発展におけるアクター・組織の役割に焦点を当てる。ヨーロッパ、アジア、南北アメリカ経済を比較することで、様々な形態の市場経済がいかに発展してきたのか、いかなる相違があるのかを分析する。 授業評価は、レポート、プレゼンテーションに基づいて行う。 【オムニバス方式／全16回】 (1 黒澤隆文) (8 IVINGS, Steven Edward)（京都大学） 第7, 8, 11, 12回（4回） 黒澤：アジア地域を中心に経営史観点から見た資本主義の歴史を担当する。 Ivings：アジア、特に日本の経済史を中心とした資本主義の歴史をグローバルな視点から分析する講義を担当する。 (10 Jan Logemann) (11 Robert Bernsee)（ゲッティンゲン大学） 第1-6, 9-10, 13-16回（12回） Logemann：資本主義や資本主義の多様性についての基本的な概念・学術史的論争を担当する。 Bernsee：資本主義の基本的知識とともに、主にヨーロッパ地域における資本主義の多様性を担当する。	集中 オムニバス 方式 共同（一部） メモ：京都 大学、ゲッ ティンゲン 大学教員が グラスゴー 大学にて提 供
グローバル経済専門Ⅰ	グラスゴー大学	Globalisation and Labour	本授業は、グローバル経済発展における、労働力や組合における労働者の活動に焦点を当てる。特に、階級・ジェンダー・人種間格差など様々な労働問題が統合されたグローバル経済といかなる関係にあるのか考察する。企業や雇用主がいかに労働組織に影響を及ぼすのか、政府や国際機関がいかに労働問題を規制してきたのかなど、労働者・労働問題を多角的に分析する。 授業評価は、レポートに基づいて行う。	
	グラスゴー大学	Technology Transfer in the Global Economy	本授業は、19世紀以降、技術移転がいかに行われてきたのか、また巨大企業の出現がいかなる影響を及ぼしてきたのか概観する。特に同テーマに関する学術文献を様々な角度から分析し、例えば、国際特許システムや企業間協力がいかに技術移転に影響を与えてきたのか考察する。これにより学際的かつ多角的な分析視角を提供することを目的とする。 授業評価は、ファイナルレポートに基づいて行う。 【オムニバス方式／全10回】 (4 Ray Stokes) 第1-4, 10回（5回） イノベーションおよび技術移転の基礎的な概念・定義・学術研究について概説を行う。	オムニバス 方式 共同（一部）

科目区分	開設大学	授業科目の名称	講義等の内容	備考
			(7 Christopher Miller) 第5-9,10回 (6回) イノベーション・技術移転について、国別・企業別などより細かい事例を通じた説明を行う。	
重点分野基礎 I	グラスゴー大学	Latin American Development from Independence to the Present	本授業は、ラテンアメリカ地域における経済発展の変化や関連テーマについて分析する。特に、同地域の長期的変化・発展における地理的要因、環境、生産要素賦存、制度、ポリシー、国際動向に着目することで、政治的不安定性や経済格差、産業化、ポピュリズムの台頭、経済危機等について考察する。これらのテーマに関する学術文献を概観することで、学問的動向・発展や理論的枠組みなどを理解することを目的とする。 授業評価は、課題文献のレビューとファイナルレポートによる。	
重点分野応用 I	グラスゴー大学	Innovation in the Middle East and North Africa	本授業は、宗教、文化、イノベーションが中東・北アフリカ地域(MENA)においていかに関連しあっているかを分析する。特にイノベーションとアントレプレナーシップの発展、西洋科学や技術の移転、STEM(科学・技術・工学・数学)分野における女性の役割、さらにバイオエシックスやエネルギー問題の政治性などの問題が経済発展といかに関わってきたかに着目する。本授業では、MENA地域の特殊性を主張する議論を批判的に考察するとともに、より広い分析モデルを使って当該地域の経済発展を分析する。 授業評価は、課題文献のレビュー(レポート2本)とファイナルレポートによる。	
クリエイティブ企業・産業	バルセロナ大学	Companies in Emerging Sectors	本授業では、新興経済地域における産業および企業について概説する。新興経済に関する知識を未知の領域での問題解決に適用し、またプロジェクトの計画やチームでの活動に関する技能、イノベーションを生み出す独創性を習得することを目指す。 授業評価は、出席、授業への参加、個人またはグループ課題に基づいて行う。	
	バルセロナ大学	Creative Cities: Intervention Models and Entrepreneurial Dynamics	本授業では、都市部のクリエイティブ産業においてグローバルとローカルな状況がいかに関係しているのかを考察する。また、グローバルな競争力を保持するためローカルなレベルでどのようなイノベーションが起きているのかを分析する。当授業を通してイノベーションやR&D、アントレプレナーシップに関わるポリシーを分析したり、新しいプロジェクトの立ち上げ・管理をするために必要な創造的かつ起業家的能力を育成する。 授業評価は、プレゼンテーション、レポート、期末試験により行う。	
	バルセロナ大学	Family Business: Innovation and Globalisation	本授業では、先進国と途上国の両方における同族経営について概説し、その重要性を説明するうえで必要な概念的および実証的なツールを提供する。イノベーション、同族経営を可能にする様々な方法について知識を得たうえで、特定の地域や産業にそれらの方法を当てはめ具体的に考察するとともに、応用段階では地域のイノベーション促進政策や企業の戦略を分析する。 授業評価は、レポート、プレゼンテーションに基づいて行う。	
	バルセロナ大学	Port Cities in Historical Perspective	本授業では、西暦1500年以降の内陸都市と港湾都市の特性を比較し、歴史的な港湾都市における場所と空間の影響を考察する。流動的なグローバル環境における港湾都市の物流、消費性向、生活様式との関係性について議論し、港湾都市内の異質な集団がいかにアイデアの対立と創造的な都市環境の発展を促進するのかについて批判的に分析する。 授業評価は、3度の試験に基づいて行う。 また、通常の講義(下記9回)に加えて、フィールドワークと学生によるプレゼンテーションを実施する。	集中 オムニバス 方式 メモ：エラスムス・ロッテルダム大学教員がバルセロナ大学にて提供

科目区分	開設大学	授業科目の名称	講義等の内容	備考
クリエイティブ企業・産業			<p>【オムニバス方式／全9回】（集中のため各回2時間の授業）</p> <p>(11 Hein Klemann) 第1-3回 (3回) 19世紀から20世紀において技術革新や産業化と港湾都市の歴史を担当する。</p> <p>(12 Paul T. van de Laar) 第4-6回 (3回) 20世紀後半における港湾都市の変化を移民の動きをもとに分析する授業を担当する。</p> <p>(13 Maarten van Dijck) 第7-9回 (3回) 近世における港湾都市の変化、特に多様な民族・人々の交流や文化越境について担当する。</p>	
	バルセロナ大学	Global Health	<p>本授業は、国際保健に関わる様々な問題をアクターや個別の事例を概観しながら理解を深める。各国政府・国際機関・プライベートセクター・NGOなど多様なステークホルダーの取り組みとその課題を分析したのち、保険制度やヘルスケアシステム、該当分野に関する法制度などについて社会的・経済的要因、ジェンダーなど様々な分析視角を用いて考察する。</p> <p>授業評価は、授業参加、プレゼンテーションに基づいて行う。</p>	
グローバル経済専門II	バルセロナ大学	Topics in International Economics	<p>国際貿易・世界経済・投資など国際経済に関わるテーマについて理解を深める。特にグローバル化によって大きく変化してきた貿易や金融、プロダクションサイクルなどに焦点を当て、競争力の変化やグローバル化の影響、規制、成長戦略などミクロ・マクロ両方の視点から国際経済の変化・発展を分析する。これにより理論的枠組みだけでなく、実社会における金融制度・政策についての理解を深めることを目的とする。</p> <p>授業評価は授業参加、貿易・金融それぞれのテーマに関するレポートによる。</p>	
	バルセロナ大学	Topics in International Politics	<p>本授業は、国際政治の主要なテーマを概観するとともに、当研究領域における分析枠組みや手法・方法論などへの理解を深めることを目的とする。特に授業では、グローバル化社会における国際システム、そこに関わる人や機関、構造的変化などに注目し、政治的・社会的問題を批判的に分析できる能力を身につける。</p> <p>授業評価は授業参加、中間および期末レポートで判断する。</p>	
重点分野基礎II	バルセロナ大学	Quantitative Analysis for International Business	<p>本授業は経済問題を分析・理解するための主要概念および計量分析手法を概説する。特に、統計分析の特徴、データ解析に必要な知識、統計ソフトウェアを使った分析結果の使用法、分析データをもとにいかにか課題解決を引き出すかなど、計量分析を実践的に役立てることを目的とする。</p> <p>授業評価は、試験によって行う。</p>	
重点分野応用II	バルセロナ大学	Conflict Management in Negotiation	<p>本授業は、組織間衝突をいかに解決するか、異なる文化間における衝突でいかに責任者が交渉戦略を立てるべきか、企業内における交渉戦略の立て方、いかに組織内で信頼を獲得し衝突を解決するか、など当事者の文化的背景の違いに注目をしながら、組織内・間における交渉のあり方について概説する。特に衝突が起きる要因や解決手段、その社会的・文化的関連性についても考察する。</p> <p>授業評価は、グループワーク、期末試験によって行う。</p>	

科目区分	開設大学	授業科目の名称	講義等の内容	備考
キャリアトレーニング	バルセロナ大学	Practicum (Consultancy Project)	本授業は、習得した知識を実際に企業が直面する課題の解決に活かせるよう、独創的で起業家精神に富んだ課題解決方法の習得を目指す。特に、倫理的問題や歴史的背景に照らし合わせて、企業や組織内部の状況・問題に応じた課題解決を行うための批判的分析能力が習得できるようにする。学生は少なくとも2週間に一度、それぞれのプロジェクトに関する分析と評価を教員に報告する。 授業評価はこれら定期的なレポートおよび最終プレゼンテーションによって行う。	演習(面談・個別指導)：90時間、 演習(コンサルティングプロジェクト)：160時間
	バルセロナ大学	Institutional or Company Placement	本授業は、習得した知識を実践の場で生かす機会を学生に与えることを目的とし、実際に企業または公的機関においてインターンとして職務をこなす。また、実際の専門的トレーニング・職務を遂行することで、組織内で他者と共に働く能力の習得を目指す。 授業評価は、企業・組織における活動に対して、職場の担当者からのレポート、および学生本人によるレポートによって行う。	
産業ダイナミクス・サステイナビリティ	京都大学	Economic Development and Policy in the Asia-Pacific (アジア・太平洋における経済開発と政策)	本科目では、アジア太平洋地域に関する政治経済的問題を歴史学・政治経済学・都市開発論・農村社会学を含む学際的知見から、歴史的・社会的コンテキストに関する基本的知識、ならびに当該学問分野における基礎となる理論や学術論争・学術史を概観する。受講者は、アジア太平洋地域における諸問題への理解を深めるとともに、理論や研究方法の基礎的枠組みを理解・認識し、自身の研究に応用できる力を習得することを目指す。 授業評価はレポートによって行う。 【オムニバス方式/全15回】 (1 黒澤 隆文) 第1-3,6,7,14,15回(7回) 経済史からみた開発政策と、今日の産業政策・競争政策の概観、フィードバック (4 久野 秀二) 第1,10-12,14,15回(6回) 都市社会論的・農村社会的諸問題と政策対応 (6 渡邊 純子) 第1,3-5,14,15回(6回) 経済史からみた開発政策と、今日の産業政策・競争政策の概観 (9 久野 愛) 第1,7,8,13-15回(6回) アジア太平洋地域の地域的個性の概観と歴史的文脈 (8 IVINGS, Steven Edward) 第1,4,8,9,14,15回(6回) アジア太平洋地域の地域的個性の概観と歴史的文脈	オムニバス方式
	京都大学	Industries and Global Competition (産業とグローバル競争)	本科目は、産業の動態を理解するための分析枠組みについて学ぶ。産業は競争力や国際分業の単位である。したがって産業の多様性を知ることが今日のグローバル経済を理解するうえで必要不可欠であり、産業に対する深い知識なしに、特定の企業や地域の成功・失敗の要因を説明することはほとんど不可能である。産業論に関する基本的な操作概念、産業の競争力を構成する諸要因について、豊富な事例研究を通じて学ぶ。最終的には、組織や産業の変化・発展を説明する仮説を構築する力を身につける。 授業評価はレポートによって行う。 【オムニバス方式/全15回】 (1 黒澤 隆文) 第1-6,15回(7回) イントロダクション(産業論の方法および基礎概念)およびモジュール1(産業の多様性と競争力)、フィードバック。 (2 田中 彰) 第7-14回(8回) モジュール2(プロセス産業の企業間ネットワークと競争力)。 モジュール3(自動車産業のイノベーションと競争力)。	オムニバス方式

科目区分	開設大学	授業科目の名称	講義等の内容	備考
産業ダイナミクス・サステイナビリティ	京都大学	International Development Assistance Policy (国際開発援助政策)	本科目は、JICA開発大学院連携講義として開講されるもので、(1) JICA担当者による日本の政府開発援助(ODA)の歴史と現状の課題に関する講義・討論、(2) 民間企業関係者によるODAおよび海外直接投資を通じた開発援助関連ビジネスに関する講義・討論、(3) NGO関係者によるODAおよび海外直接投資を通じた開発援助事業・ビジネスの諸問題と開発支援のための代替的アプローチに関する講義・討論、および(4) 総合討論と課題論文・フィードバックから構成される。この科目を通じて、学生は日本のODAや民間企業の直接投資が果たしてきた役割(その功罪)を歴史的な文脈およびグローバルな政治経済とローカルな社会文化の文脈において深く理解することができる。国際開発援助政策の今後のあり方について批判的かつ建設的な洞察を行うことができる。 授業評価はレポートによって行う。	(JICA開発大学院連携科目)
産業ダイナミクス・サステイナビリティ実習	京都大学	On-site Research Training A (実地調査研修A)	本科目では、国内企業や地方行政等の実態(構造、機能、戦略)と課題を現場感覚で理解することを目的に、工場見学や研修講義、関係者へのインタビュー等の現地調査と、その前後に実施する事前学習(関連課題の講義と調査準備)および事後学習(課題論文とディスカッション)とを組み合わせたセッションを、3~4回(うち1回は専門分野ごとに設計)実施する。本科目の履修を通じて、学生は座学で学ぶ経済学・経営学や隣接社会科学の諸理論や諸事例を、現場レベルの現実経済・現実社会に即して捉え直し、その理解を深めることができる。 授業評価はレポートおよびプレゼンテーションによって行う。 【オムニバス方式/全9回】 (1) 黒澤 隆文) 第1-3回(3回) 産業・経営史に関する授業を担当 (4) 久野 秀二) 第4-6回(3回) 農業・食に関する授業を担当 (2) 田中 彰) 第7-9回(3回) 自動車産業・家電リサイクル産業に関する授業を担当 (9) 久野 愛) 第1-9回(9回) 授業全体のコーディネーター。毎回授業に参加(授業内の講義は上記3名の教員が担当)。 (8) IVINGS, Steven Edward) (10) RALANDISON, Tsilavo) 第2,5,8回(3回) 課外学習時の補佐	集中オムニバス方式 A: 秋冬学期開講 実習: 7.5時間 講義: 15時間
	京都大学	On-site Research Training B (実地調査研修B)	本科目では、国内企業や地方行政等の実態(構造、機能、戦略)と課題を現場感覚で理解することを目的に、工場見学や研修講義、関係者へのインタビュー等の現地調査と、その前後に実施する事前学習(関連課題の講義と調査準備)および事後学習(課題論文とディスカッション)とを組み合わせたセッションを、3~4回(うち1回は専門分野ごとに設計)実施する。本科目の履修を通じて、学生は座学で学ぶ経済学・経営学や隣接社会科学の諸理論や諸事例を、現場レベルの現実経済・現実社会に即して捉え直し、その理解を深めることができる。 授業評価はレポートおよびプレゼンテーションによって行う。 【オムニバス方式/全9回】 (1) 黒澤 隆文) 第1-3回(3回) 産業・経営史に関する授業を担当 (4) 久野 秀二) 第4-6回(3回) 農業・食に関する授業を担当	集中オムニバス方式 B: 春夏学期開講 実習: 7.5時間 講義: 15時間

科目区分	開設大学	授業科目の名称	講義等の内容	備考
産業ダイナミクス・サステイナビリティ実習			<p>(2 田中 彰) 第7-9回 (3回) 自動車産業・家電リサイクル産業に関する授業を担当</p> <p>(9 久野 愛) 第1-9回 (9回) 授業全体のコーディネーター。毎回授業に参加（授業内の講義は上記3名の教員が担当）。</p> <p>(8 IVINGS, Steven Edward) (10 RALANDISON, Tsilavo) 第2,5,8回 (3回) 課外学習時の補佐</p>	
重点分野基礎Ⅲ	京都大学	Economic History Readings A (経済史リーディングA)	<p>本科目は、経済史の分野における A)基礎概念, B)重要な理論体系・分析枠組み・研究アプローチ, C)大きな歴史的テーマに関する見方・論争 (Historiography) を理解するために、教科書や要約された情報によるのではなく、選りすぐられた重要な作品（研究書や論文など。古典を含む）そのものを読み、考え、議論を行う。取り上げる文献は每期、適切なものを選択する。参加者は、必ず対象となる文献を事前に読んだうえで参加する。文献は1冊の本であることも、1編から数編の論文であることもある。ボリュームに応じた読み方（精読／多読）を身に着けることも本科目の目的のひとつである。1冊の本であっても、少なくとも指定された部分は必ず事前に読んだうえで参加する。授業評価は授業への参加度、授業内で出される課題によって行う。</p> <p>【オムニバス方式／全15回】</p> <p>(1 黒澤 隆文) 第1-4回 (4回) イントロダクションおよび輪読3回分。</p> <p>(6 渡邊 純子) 第5-7回 (3回) 輪読3回分。</p> <p>(2 田中 彰) 第8-10回 (3回) 輪読3回分。</p> <p>(8 IVINGS, Steven Edward) 第11-15回 (5回) 輪読4回分および総括ディスカッション、フィードバック。</p>	オムニバス方式 隔年
	京都大学	Economic History Readings B (経済史リーディングB)	<p>本科目は、経済史の分野における A)基礎概念, B)重要な理論体系・分析枠組み・研究アプローチ, C)大きな歴史的テーマに関する見方・論争 (Historiography) を理解するために、教科書や要約された情報によるのではなく、選りすぐられた重要な作品（研究書や論文など。古典を含む）そのものを読み、考え、議論を行う。取り上げる文献は每期、適切なものを選択する。参加者は、必ず対象となる文献を事前に読んだうえで参加する。文献は1冊の本であることも、1編から数編の論文であることもある。ボリュームに応じた読み方（精読／多読）を身に着けることも本科目の目的のひとつである。1冊の本であっても、少なくとも指定された部分は必ず事前に読んだうえで参加する。授業評価は授業への参加度、授業内で出される課題によって行う。</p> <p>【オムニバス方式／全15回】</p> <p>(1 黒澤 隆文) 第1-4回 (4回) イントロダクションおよび輪読3回分。</p> <p>(6 渡邊 純子) 第5-7回 (3回) 輪読3回分。</p> <p>(2 田中 彰) 第8-10回 (3回) 輪読3回分。</p> <p>(8 IVINGS, Steven Edward) 第11-15回 (5回) 輪読4回分および総括ディスカッション、フィードバック。</p>	オムニバス方式 隔年

科目区分	開設大学	授業科目の名称	講義等の内容	備考
重点分野基礎Ⅲ	京都大学	Comparative Business Ethics (比較企業倫理論)	<p>本科目は、複雑化する現代社会において企業・産業がいかなる役割を果たすべきか、その社会的責任について倫理的視角から分析・考察を行う。環境問題や労働問題などを含め企業の社会的責任は、近年ますます人々の関心を広く集めており、企業倫理を多角的かつ批判的に分析することは、将来企業人または研究者となる学生たちにとって求められる重要なスキルである。日本を始め、アメリカ合衆国、ヨーロッパ諸国、中国など様々な国・地域における企業の倫理的責任やこれまでに起こった倫理的問題の事例について議論することで、企業活動を批判的に評価・考察するための知識と分析力を身につけることを目的とする。</p> <p>授業評価は授業への参加度、レポートによって行う。</p>	
	京都大学	Critical Consumption Studies (批判的消費研究)	<p>本科目は、広義の「消費」について、その経済的・政治的・社会的・文化的側面を網羅的に捉え、批判的に分析する。具体的には、社会科学諸領域の理論枠組みや諸概念を幅広く紹介し習得させるとともに、(1) 食消費を題材に政治と経済、グローバルとローカル、主流市場でのマーケティングとオルタナティブ・イニシアチブなどのテーマを取りあげ、さらに(2) 食品・日用品・服飾等の消費を題材に文化、地理、感覚、ジェンダーなどのテーマを取りあげる。本科目の履修を通じて、学生は「消費」に対する理論的・実証的ならびに多面的・学際的な理解を深めることができる。</p> <p>授業評価は授業への参加度、レポートによって行う。</p> <p>【オムニバス方式／全15回】</p> <p>(4 久野 秀二) 第1,2,4,6-9,14回 (8回) 農業経済・社会学・地理学等の観点から食消費とサステナビリティをめぐる社会的諸関係に関する授業を担当。</p> <p>(9 久野 愛) 第3,5,10-13,15回 (7回) 歴史的視点から食・ファッション・美容産業などに関する授業を担当。</p>	オムニバス方式
重点分野応用Ⅲ	京都大学	International Political Economy of Agriculture (農業の国際政治経済学)	<p>本科目は、国際政治経済学および社会学の理論枠組み及び諸概念を用い、諸主体間の不均等な関係性に着目しながら、グローバル、ナショナル、ローカル次元の農業・食料ガバナンスの変遷と現状を明らかにするとともに、「持続可能な発展」や「食料主権」等の概念・言説・運動を切り口に、農業・食料ガバナンスの課題と展望を論じる。本科目の履修を通じて、学生は農業・食料を取り巻く社会的・経済的・政治的・文化的・環境的な諸問題への批判的・学際的なアプローチを習得するとともに、「構造と主体との関係性」や「言説的権力」等の社会科学の根本問題への洞察を得ることができる。農業・食料あるいは国際政治経済学・社会学についての初学者でも効果的に学習できるよう、国際的に評価の高い入門的専門書をテキストに用いる。</p> <p>授業評価は授業への参加度、プレゼンテーションによって行う。</p>	
	京都大学	International Agribusiness Studies (国際アグリビジネス研究)	<p>本科目は、農業食料価値連鎖（食料生産の川上から川下までの流れ）に沿って、特定の農産物を取りまく社会的・経済的・政治的・文化的・環境的な諸問題を分析的かつ包括的に捉える商品システム分析の諸アプローチを取りあげ、その有効性・汎用性について、具体的事例に基づきながら批判的に検証する。本科目の履修を通じて、学生は一般的な経営管理論や産業論では見落とされがちな、農産物および農業食料関連産業に関わる多元的側面への批判的洞察方法を習得することができる。理論枠組みや諸概念に関する重要論文は毎年取りあげるが、具体的事例は参加者の興味関心に合わせるなど固定せず、複数年度履修者にも配慮した設計とする。</p> <p>授業評価は授業への参加度、レポートによって行う。</p>	

科目区分	開設大学	授業科目の名称	講義等の内容	備考
重点分野 上級	京都大学	Historical Approaches to Business and Economics A (経済・経営の歴史分析 A)	本科目は、国際ビジネスに関する様々な文献を通して、年代順及びテーマ別に、16世紀から今日に到る非常に長い期間における国際ビジネスの発展を概観する。授業は、講義・チュートリアル・セミナーを通じた7つのセッションから構成され、講義では様々なテーマをカバーし、授業で使用するパワーポイント資料は受講者が後で閲覧できるよう共有する。講義の内容は、試験の対象となる。チュートリアルでは、関連文献や講義の内容について討論を行う。また受講者は、自身の研究内容についてより広い視点から分析できるよう、当授業で扱うテーマやアプローチを応用させる形で自身の修士論文にかかる研究について発表を行う。 授業評価は授業への参加度、授業内で出される課題によって行う。	集中 隔年
	京都大学	Historical Approaches to Business and Economics B (経済・経営の歴史分析 B)	イノベーションと企業家精神は、経済・経営の歴史分析における中心的課題であり、本科目では、イノベーション、企業家精神、そして経済変動に関する研究の理論的・方法的、あるいは主題別の諸問題の基本について概説する。講義やディスカッション、演習を通じて、受講者自身の研究にも、これらのアプローチを応用することができるようにする。 授業評価は授業への参加度、授業内で出される課題によって行う。	集中 隔年
	京都大学	Business History & Industry Studies Readings A (経営史・産業論リーディング A)	本科目は、経営史・産業論の分野における①基礎概念、②重要な理論体系・分析枠組み・研究アプローチ、③大きな歴史的主題に関する見方・論争 (Historiography) を理解するために、教科書や要約された情報によるのではなく、選りすぐられた重要な作品 (研究書や論文など。古典を含む) そのものを読み、考え、議論を行う。参加者は、必ず対象となる文献を事前に読んだうえで参加する。文献は1冊の本であることも、1編から数編の論文であることもある。ボリュームに応じた読み方 (精読/多読) を身に着けることも本科目の目的のひとつである。1冊の本であっても、少なくとも指定された部分は必ず事前に読んだうえで参加する。 A では管理史・経営組織史・産業史の分野の成果を学ぶ。 授業評価は授業への参加度、授業内で出される課題によって行う。 【オムニバス方式/全15回】 (2 田中 彰) 第1-5回 (5回) イントロダクションおよびモジュール1 (管理史・経営組織史分野の古典的研究または最近注目の研究に係る文献の講読。取り上げる文献は毎期、適切なものを選択する)。 (6 渡邊 純子) 第6-9回 (4回) モジュール2 (管理史・経営組織史分野の古典的研究または最近注目の研究に係る文献の講読。取り上げる文献は毎期、適切なものを選択する)。 (1 黒澤 隆文) 第10-15回 (6回) モジュール3 (管理史・経営組織史分野の古典的研究または最近注目の研究に係る文献の講読。取り上げる文献は毎期、適切なものを選択する) および総括ディスカッション、フィードバック。	オムニバス 方式 隔年

科目区分	開設大学	授業科目の名称	講義等の内容	備考
重点分野上級	京都大学	Business History & Industry Studies Readings B (経営史・産業論リーディング B)	<p>本科目は、経営史・産業論の分野における①基礎概念、②重要な理論体系・分析枠組み・研究アプローチ、③大きな歴史的テーマに関する見方・論争 (Historiography) を理解するために、教科書や要約された情報によるのではなく、選りすぐられた重要な作品 (研究書や論文など。古典を含む) そのものを読み、考え、議論を行う。参加者は、必ず対象となる文献を事前に読んだうえで参加する。文献は1冊の本であることも、1編から数編の論文であることもある。ボリュームに応じた読み方 (精読/多読) を身に着けることも本科目の目的のひとつである。1冊の本であっても、少なくとも指定された部分は必ず事前に読んだうえで参加する。</p> <p>B では国際経営史・グローバル産業論分野の成果を学ぶ。 授業評価は授業への参加度、授業内で出される課題によって行う。</p> <p>【オムニバス方式/全15回】</p> <p>(2 田中 彰) 第1-6回 (6回) イントロダクションおよびモジュール1 (国際経営史分野の古典的研究または最近注目の研究に係る文献の講読。取り上げる文献は毎期、適切なものを選択する)。</p> <p>(1 黒澤 隆文) 第7-10回 (4回) モジュール2 (国際経営史分野の古典的研究または最近注目の研究に係る文献の講読。取り上げる文献は毎期、適切なものを選択する)。</p> <p>(6 渡邊 純子) 第11-15回 (5回) モジュール3 (国際経営史分野の古典的研究または最近注目の研究に係る文献の講読。取り上げる文献は毎期、適切なものを選択する) および総括ディスカッション、フィードバック。</p>	オムニバス方式 隔年
	京都大学	Advanced Academic Writing & Presentation (アカデミックライティング・プレゼンテーション (上級))	<p>本科目は、英語による論文執筆・発表のスキルアップ向上を目的とし、剽窃をしてはならないなどの論文執筆に関する基本的な心構えや作法に加え、効果的な論文の書き方や発表の仕方など実践的な知識やスキルを提供する。修士論文や学会発表原稿など実際に学生たちが執筆・発表する原稿をもとに、学生を少人数グループに分け、複数の教員が各グループの指導を担当することで、より実践に即した指導を行う。さらに、学生同士で原稿を読み批判し合うことにより、他人の良いところ・悪いところから学ぶとともに、将来指導する立場になった際のコメントの仕方などを身につける。</p> <p>授業評価は授業への参加度、授業内で出される課題によって行う。</p> <p>【オムニバス方式/全15回】</p> <p>(1 黒澤 隆文) 第1-15回 (15回) 論文の構成方法・効果的な議論の進め方、特に経営史・経済史研究における論文執筆の作法や研究の進め方について担当。</p> <p>(8 IVINGS, Steven Edward) 第1-15回 (15回) 英語ネイティブスピーカーとして、英語の書き方など基本的な英語指導、および英語論文執筆の作法を担当。</p> <p>(9 久野 愛) 第1-15回 (15回) 英語論文執筆の方法や研究の進め方、学会発表などでの効果的な表現などを担当。</p>	集中 オムニバス方式 講義： 12時間 演習： 10.5時間
研究スキル	京都大学	Qualitative Research Methods (質的調査方法論)	<p>本科目は、人文社会科学諸領域に共通して適用可能な質的調査方法に基づく①リサーチデザイン、②質的データ収集法 (構造化インタビュー、半構造化インタビュー、非構造化インタビュー、フォーカスグループ、参与観察、グラウンデッド・セオリー・アプローチ等)、③質的データ分析法 (トランスクリプション、コーディング、内容分析、会話分析等) について、その概要と事例に関する講義を提供するとともに、学生が実際にこれらの方法を用いる練習を行うことで、質的調査方法への理解とスキルを理論的・実践的に深めることを目的としている。</p> <p>授業評価は授業への参加度、授業内で出される課題によって行う。</p>	

科目区分	開設大学	授業科目の名称	講義等の内容	備考
研究 I	京都大学	Master Thesis Design (修士論文デザイン)	<p>本科目は、修士論文の作成に必要なリサーチデザインや調査・分析方法、課題の設定方法など、基本的なアカデミックスキルの指導を行う。最終学期の論文指導の前段階として、各指導教員による研究指導、および複数の教員が共同で行う授業からなり、学生は個々の研究課題に基づいて指導を受けるとともに、より一般的な研究・調査の作法や論文執筆方法について学ぶ。</p> <p>授業評価は授業への参加度、レポートによって行う。</p> <p>(1 黒澤 隆文) 以下の3つのいずれかに該当する研究分野・手法の研究を行う大学院生を受け入れる。 ①産業論・産業史・産業政策に関する分析(対象地域を問わない) ②ヨーロッパの経済・経営・政策に関する分析 ③経済史・経営史(地域を問わない) また一般に、歴史的な視点と手法に関心があること、今日の社会の多様な問題について関心と問題意識を持つことを指導の条件とする。</p> <p>(2 田中 彰) 日本あるいはアジア太平洋地域の企業システム・企業間システムを歴史的観点をふまえて研究しようとする学生を受け入れる。</p> <p>(3 根井 雅弘) 現代経済思想史上の文献を幅広く読み、そのなかから自分の研究テーマを探そうとする学生を受け入れる。</p> <p>(4 久野 秀二) ①国内外の農業・食料・農村問題、②地域開発問題、③これらに関わる多国籍企業・国際機関・市民社会の役割に興味があり、農業・食料・開発に関連する社会科学分野を学部専門レベルで既習で、学際的なアプローチを志向する学生を優先的に受け入れる。</p> <p>(5 矢野 剛) 移行・途上国経済の数量的分析に興味のある学生を受け入れる。</p> <p>(6 渡邊 純子) 日本経済について、歴史(長期)的視点から研究する学生を対象とする。経済学や経営学の理論を踏まえた歴史分析を重視する。</p> <p>(7 Wang Tao) 組織理論、社会的評価、非市場戦略を専攻する学生を受け入れる。</p> <p>(8 IVINGS, Steven Edward) 社会経済史(東アジア・ヨーロッパ)、植民地開発論、コロニアル・ポストコロニアル人口移動を専攻する学生を受け入れる。</p> <p>(9 久野 愛) 経営史、特に欧米地域のビジネス・消費主義文化・社会史を横断したテーマを中心に指導を行う。</p>	

科目区分	開設大学	授業科目の名称	講義等の内容	備考
研究Ⅱ	京都大学・グラスゴー大学・バルセロナ大学	Master Thesis Research (修士論文研究)	<p>本科目は、修士論文の作成過程で必要となるリサーチデザイン、実際の調査・分析および執筆に関する指導を行う。すなわち、各学生の問題意識から出発しつつ、専門分野の学術動向や資料・データのアクセス可能状況を勘案して適切な研究対象、リサーチクエスションおよび研究方法を設定すること、資料収集（フィールド調査を含む）、その分析・解釈に必要なアカデミックスキルを研究実践を通じて身につけさせること、得られた知見を系統的に叙述して修士論文として完成させることのすべてが課題となる。</p> <p>以上の過程は学生の専門分野、研究対象・課題、語学力、アカデミックスキルズ、および研究のステップに応じて多様であり、指導教員は具体的な状況に応じて適切な指導を行う。</p> <p>授業評価は授業への参加度、レポートによって行う。</p> <p>【京都大学】</p> <p>(1 黒澤 隆文) 以下の3つのいずれかに該当する研究分野・手法の研究を行う大学院生を受け入れる。 ①産業論・産業史・産業政策に関する分析（対象地域を問わない） ②ヨーロッパの経済・経営・政策に関する分析 ③経済史・経営史（地域を問わない） また一般に、歴史的な視点と手法に関心があること、今日の社会の多様な問題について関心と問題意識を持つことを指導の条件とする。</p> <p>(2 田中 彰) 日本あるいはアジア太平洋地域の企業システム・企業間システムを歴史的観点をふまえて研究しようとする学生を受け入れる。</p> <p>(3 根井 雅弘) 現代経済思想史上の文献を幅広く読み、そのなかから自分の研究テーマを探そうとする学生を受け入れる。</p> <p>(4 久野 秀二) ①国内外の農業・食料・農村問題、②地域開発問題、③これらに関わる多国籍企業・国際機関・市民社会の役割に興味があり、農業・食料・開発に関連する社会科学分野を学部専門レベルで既習で、学際的なアプローチを志向する学生を優先的に受け入れる。</p> <p>(5 矢野 剛) 移行・途上国経済の数量的分析に興味のある学生を受け入れる。</p> <p>(6 渡邊 純子) 日本経済について、歴史（長期）的視点から研究する学生を対象とする。経済学や経営学の理論を踏まえた歴史分析を重視する。</p> <p>(7 Wang Tao) 組織理論、社会的評価、非市場戦略を専攻する学生を受け入れる。</p> <p>(8 IVINGS, Steven Edward) 社会経済史（東アジア・ヨーロッパ）、植民地開発論、コロニアル・ポストコロニアル人口移動を専攻する学生を受け入れる。</p> <p>(9 久野 愛) 経営史、特に欧米地域のビジネス・消費主義文化・社会史を横断したテーマを中心に指導を行う。</p> <p>【グラスゴー大学】</p> <p>(1 Jeff Fear) ヨーロッパ経済史、国際経済、移民や家族ビジネスを専攻とする学生を受け入れる。</p> <p>(2 Jim Tomlinson) 経済史、社会史を専攻とする学生を受け入れる。</p>	共同開設科目

科目区分	開設大学	授業科目の名称	講義等の内容	備考
研究Ⅱ	京都大学・グラスゴー大学・バルセロナ大学	Master Thesis Research (修士論文研究)	<p>(3 Neil Rollings) イギリス政治経済史, ヨーロッパ経済を専攻とする学生を受け入れる。</p> <p>(4 Ray Stokes) ヨーロッパ経済史・経営史, 技術移転を専攻とする学生を受け入れる。</p> <p>(5 Duncan Ross) スコットランド経済史, 金融・バンキング史を専攻とする学生を受け入れる。</p> <p>(6 Jim Phillips) イギリス・スコットランド経済史, 労働史を専攻とする学生を受け入れる。</p> <p>(7 Christopher Miller) 軍隊史, グローバリゼーションを専攻とする学生を受け入れる。</p> <p>(8 Hannah-Louise Clark) 国際健康, 社会福祉, 国際経済, アフリカ史を専攻とする学生を受け入れる。</p> <p>(9 Helen Yaffe) キューバ史, ラテンアメリカ経済史を専攻とする学生を受け入れる。</p> <p>【バルセロナ大学】</p> <p>(1 Elisenda Paluzie Hernandez) 国際貿易を専攻とする学生を受け入れる。</p> <p>(2 Juan Tugores Ques) 国際経済を専攻とする学生を受け入れる</p> <p>(4 Paloma Fernandez Perez) 国際経済, 家族ビジネス, 経営史を専攻とする学生を受け入れる。</p> <p>(5 Javier Manuel Romani Fernandez) 国際経済, ビジネスを専攻とする学生を受け入れる。</p> <p>(6 Josep Lladós Masllorens) 国際経済を専攻とする学生を受け入れる。</p> <p>(7 Maria Esther Hormiga Perez) アントレプレナーシップを専攻とする学生を受け入れる。</p> <p>(8 Montserrat Pareja-Eastaway) 都市経済を専攻とする学生を受け入れる。</p> <p>(10 Patricia Elgoibar Esteban) 国際経済, 組織論を専攻とする学生を受け入れる。</p>	

(注)

- 国際連携学科等を設置する場合は、別記様式第2号(その3の1)に代えて、この書類を作成すること。加えて、国際連携教育学科等を設置する大学及び連携外国大学別にこの書類を作成すること。共同開設科目については、当該科目の単位を修得した場合に、単位を修得したとする大学の書類に含めること。
- 開設する授業科目の数に応じ、適宜枠の数を増やして記入すること。
- 私立の大学若しくは高等専門学校の取容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合、大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は、この書類を作成する必要はない。

授業科目の概要（国際連携学科等）

（経済学研究科 京都大学国際連携グローバル経済・地域創造専攻（修士課程））（京都大学）

科目区分	開設大学	授業科目の名称	講義等の内容	備考
産業ダイナミクス・サステイナビリティ	京都大学	Economic Development and Policy in the Asia-Pacific (アジア・太平洋における経済開発と政策)	<p>本科目では、アジア太平洋地域に関する政治経済的問題を歴史学・政治経済学・都市開発論・農村社会学を含む学際的知見から、歴史的・社会的コンテクストに関する基本的知識、ならびに当該学問分野における基礎となる理論や学術論争・学術史を概観する。受講者は、アジア太平洋地域における諸問題への理解を深めるとともに、理論や研究方法の基礎的枠組みを理解・認識し、自身の研究に応用できる力を習得することを目指す。</p> <p>授業評価はレポートによって行う。</p> <p>【オムニバス方式／全15回】</p> <p>(1 黒澤 隆文) 第1-3,6,7,14,15回 (7回) 経済史からみた開発政策と、今日の産業政策・競争政策の概観、フィードバック</p> <p>(4 久野 秀二) 第1,10-12,14,15回 (6回) 都市社会論的・農村社会的諸問題と政策対応</p> <p>(6 渡邊 純子) 第1,3-5,14,15回 (6回) 経済史からみた開発政策と、今日の産業政策・競争政策の概観</p> <p>(9 久野 愛) 第1,7,8,13-15回 (6回) アジア太平洋地域の地域的個性の概観と歴史的文脈</p> <p>(8 IVINGS, Steven Edward) 第1,4,8,9,14,15回 (6回) アジア太平洋地域の地域的個性の概観と歴史的文脈</p>	オムニバス方式
	京都大学	Industries and Global Competition (産業とグローバル競争)	<p>本科目は、産業の動態を理解するための分析枠組みについて学ぶ。産業は競争力や国際分業の単位である。したがって産業の多様性を知ることが今日のグローバル経済を理解するうえで必要不可欠であり、産業に対する深い知識なしに、特定の企業や地域の成功・失敗の要因を説明することはほとんど不可能である。産業論に関する基本的な操作概念、産業の競争力を構成する諸要因について、豊富な事例研究を通じて学ぶ。最終的には、組織や産業の変化・発展を説明する仮説を構築する力を身に着ける。</p> <p>授業評価はレポートによって行う。</p> <p>【オムニバス方式／全15回】</p> <p>(1 黒澤 隆文) 第1-6,15回 (7回) イントロダクション（産業論の方法および基礎概念）およびモジュール1（産業の多様性と競争力）、フィードバック。</p> <p>(2 田中 彰) 第7-14回 (8回) モジュール2（プロセス産業の企業間ネットワークと競争力）。 モジュール3（自動車産業のイノベーションと競争力）。</p>	オムニバス方式
	京都大学	International Development Assistance Policy (国際開発援助政策)	<p>本科目は、JICA開発大学院連携講義として開講されるもので、(1) JICA担当者による日本の政府開発援助（ODA）の歴史と現状の課題に関する講義・討論、(2) 民間企業関係者による ODA および海外直接投資を通じた開発援助関連ビジネスに関する講義・討論、(3) NGO関係者による ODAおよび海外直接投資を通じた開発援助事業・ビジネスの諸問題と開発支援のための代替的アプローチに関する講義・討論、および(4) 総合討論と課題論文・フィードバックから構成される。この科目を通じて、学生は日本のODAや民間企業の直接投資が果たし</p>	(JICA 開発大学院連携科目)

科目区分	開設大学	授業科目の名称	講義等の内容	備考
			<p>てきた役割（その功罪）を歴史的文脈およびグローバルな政治経済とローカルな社会文化の文脈において深く理解することができるとともに、国際開発援助政策の今後のあり方について批判的かつ建設的な洞察を行うことができる。</p> <p>授業評価はレポートによって行う。</p>	
産業ダイナミクス・サステイナビリティ実習	京都大学	On-site Research Training A (実地調査研修A)	<p>本科目では、国内企業や地方行政等の実態（構造、機能、戦略）と課題を現場感覚で理解することを目的に、工場見学や研修講義、関係者へのインタビュー等の現地調査と、その前後に実施する事前学習（関連課題の講義と調査準備）および事後学習（課題論文とディスカッション）とを組み合わせたセッションを、3～4回（うち1回は専門分野ごとに設計）実施する。本科目の履修を通じて、学生は座学で学ぶ経済学・経営学や隣接社会科学の諸理論や諸事例を、現場レベルの現実経済・現実社会に即して捉え直し、その理解を深めることができる。</p> <p>授業評価はレポートおよびプレゼンテーションによって行う。</p> <p>【オムニバス方式／全9回】</p> <p>(1 黒澤 隆文) 第1-3回 (3回) 産業・経営史に関する授業を担当。</p> <p>(4 久野 秀二) 第4-6回 (3回) 農業・食に関する授業を担当。</p> <p>(2 田中 彰) 第7-9回 (3回) 自動車産業・家電リサイクル産業に関する授業を担当。</p> <p>(9 久野 愛) 第1-9回 (9回) 授業全体のコーディネーター。毎回授業に参加（授業内の講義は上記3名の教員が担当）。</p> <p>(8 IVINGS, Steven Edward) (10 RALANDISON, Tsilavo) 第2,5,8回 (3回) 課外学習時の補佐。</p>	<p>集中オムニバス方式</p> <p>A：秋冬学期開講 実習：7.5時間 講義：15時間</p>
	京都大学	On-site Research Training B (実地調査研修B)	<p>本科目では、国内企業や地方行政等の実態（構造、機能、戦略）と課題を現場感覚で理解することを目的に、工場見学や研修講義、関係者へのインタビュー等の現地調査と、その前後に実施する事前学習（関連課題の講義と調査準備）および事後学習（課題論文とディスカッション）とを組み合わせたセッションを、3～4回（うち1回は専門分野ごとに設計）実施する。本科目の履修を通じて、学生は座学で学ぶ経済学・経営学や隣接社会科学の諸理論や諸事例を、現場レベルの現実経済・現実社会に即して捉え直し、その理解を深めることができる。</p> <p>授業評価はレポートおよびプレゼンテーションによって行う。</p> <p>【オムニバス方式／全9回】</p> <p>(1 黒澤 隆文) 第1-3回 (3回) 産業・経営史に関する授業を担当。</p> <p>(4 久野 秀二) 第4-6回 (3回) 農業・食に関する授業を担当。</p> <p>(2 田中 彰) 第7-9回 (3回) 自動車産業・家電リサイクル産業に関する授業を担当。</p> <p>(9 久野 愛) 第1-9回 (9回) 授業全体のコーディネーター。毎回授業に参加（授業内の講義は上記3名の教員が担当）。</p>	<p>集中オムニバス方式</p> <p>B：春夏学期開講 実習：7.5時間 講義：15時間</p>

科目区分	開設大学	授業科目の名称	講義等の内容	備考
			(8 IVINGS, Steven Edward) (10 RALANDISON, Tsilavo) 第2,5,8回(3回) 外学習時の補佐	
重点分野基礎Ⅲ	京都大学	Economic History Readings A (経済史リーディングA)	<p>本科目は、経済史の分野における A)基礎概念, B)重要な理論体系・分析枠組み・研究アプローチ, C)大きな歴史的主題に関する見方・論争 (Historiography) を理解するために、教科書や要約された情報によるのではなく、選りすぐられた重要な作品(研究書や論文など。古典を含む)そのものを読み、考え、議論を行う。取り上げる文献は毎期、適切なものを選択する。参加者は、必ず対象となる文献を事前に読んだうえで参加する。文献は1冊の本であることも、1編から数編の論文であることもある。ボリュームに応じた読み方(精読/多読)を身に着けることも本科目の目的のひとつである。1冊の本であっても、少なくとも指定された部分は必ず事前に読んだうえで参加する。授業評価は授業への参加度、授業内で出される課題によって行う。</p> <p>【オムニバス方式/全15回】</p> <p>(1 黒澤 隆文) 第1-4回(4回) イントロダクションおよび輪読3回分。</p> <p>(6 渡邊 純子) 第5-7回(3回) 輪読3回分。</p> <p>(2 田中 彰) 第8-10回(3回) 輪読3回分。</p> <p>(8 IVINGS, Steven Edward) 第11-15回(5回) 輪読4回分および総括ディスカッション, フィードバック。</p>	オムニバス方式 隔年
	京都大学	Economic History Readings B (経済史リーディングB)	<p>本科目は、経済史の分野における A)基礎概念, B)重要な理論体系・分析枠組み・研究アプローチ, C)大きな歴史的主題に関する見方・論争 (Historiography) を理解するために、教科書や要約された情報によるのではなく、選りすぐられた重要な作品(研究書や論文など。古典を含む)そのものを読み、考え、議論を行う。取り上げる文献は毎期、適切なものを選択する。参加者は、必ず対象となる文献を事前に読んだうえで参加する。文献は1冊の本であることも、1編から数編の論文であることもある。ボリュームに応じた読み方(精読/多読)を身に着けることも本科目の目的のひとつである。1冊の本であっても、少なくとも指定された部分は必ず事前に読んだうえで参加する。授業評価は授業への参加度、授業内で出される課題によって行う。</p> <p>【オムニバス方式/全15回】</p> <p>(1 黒澤 隆文) 第1-4回(4回) イントロダクションおよび輪読3回分。</p> <p>(6 渡邊 純子) 第5-7回(3回) 輪読3回分。</p> <p>(2 田中 彰) 第8-10回(3回) 輪読3回分。</p> <p>(8 IVINGS, Steven Edward) 第11-15回(5回) 輪読4回分および総括ディスカッション, フィードバック。</p>	オムニバス方式 隔年

科目区分	開設大学	授業科目の名称	講義等の内容	備考
重点分野基礎Ⅲ	京都大学	Comparative Business Ethics (比較企業倫理論)	<p>本科目は、複雑化する現代社会において企業・産業がいかなる役割を果たすべきか、その社会的責任について倫理的視角から分析・考察を行う。環境問題や労働問題などを含め企業の社会的責任は、近年ますます人々の関心を広く集めており、企業倫理を多角的かつ批判的に分析することは、将来企業人または研究者となる学生たちにとって求められる重要なスキルである。日本を始め、アメリカ合衆国、ヨーロッパ諸国、中国など様々な国・地域における企業の倫理的責任やこれまでに起こった倫理的問題の事例について議論することで、企業活動を批判的に評価・考察するための知識と分析力を身につけることを目的とする。</p> <p>授業評価は授業への参加度、レポートによって行う。</p>	
	京都大学	Critical Consumption Studies (批判的消費研究)	<p>本科目は、広義の「消費」について、その経済的・政治的・社会的・文化的側面を網羅的に捉え、批判的に分析する。具体的には、社会科学諸領域の理論枠組みや諸概念を幅広く紹介し習得させるとともに、(1) 食消費を題材に政治と経済、グローバルとローカル、主流市場でのマーケティングとオルタナティブ・イニシアチブなどのテーマを取りあげ、さらに(2) 食品・日用品・服飾等の消費を題材に文化、地理、感覚、ジェンダーなどのテーマを取りあげる。本科目の履修を通じて、学生は「消費」に対する理論的・実証的ならびに多面的・学際的な理解を深めることができる。</p> <p>授業評価は授業への参加度、レポートによって行う。</p> <p>【オムニバス方式／全15回】 (4 久野 秀二) 第1,2,4,6-9,14回 (8回) 農業経済・社会学・地理学等の観点から食消費とサステナビリティをめぐる社会的諸関係に関する授業を担当。</p> <p>(9 久野 愛) 第3,5,10-13,15回 (7回) 歴史的視点から食・ファッション・美容産業などに関する授業を担当。</p>	オムニバス方式
	京都大学	International Political Economy of Agriculture (農業の国際政治経済学)	<p>本科目は、国際政治経済学および社会学の理論枠組み及び諸概念を用い、諸主体間の不均等な関係性に着目しながら、グローバル、ナショナル、ローカル次元の農業・食料ガバナンスの変遷と現状を明らかにするとともに、「持続可能な発展」や「食料主権」等の概念・言説・運動を切り口に、農業・食料ガバナンスの課題と展望を論じる。本科目の履修を通じて、学生は農業・食料を取り巻く社会的・経済的・政治的・文化的・環境的な諸問題への批判的・学際的なアプローチを習得するとともに、「構造と主体との関係性」や「言説的権力」等の社会科学の根本問題への洞察を得ることができる。農業・食料あるいは国際政治経済学・社会学についての初学者でも効果的に学習できるよう、国際的に評価の高い入門的専門書をテキストに用いる。</p> <p>授業評価は授業への参加度、プレゼンテーションによって行う。</p>	
重点分野応用Ⅲ	京都大学	International Agribusiness Studies (国際アグリビジネス研究)	<p>本科目は、農業食料価値連鎖（食料生産の川上から川下までの流れ）に沿って、特定の農産物を取りまく社会的・経済的・政治的・文化的・環境的な諸問題を分析的かつ包括的に捉える商品システム分析の諸アプローチを取りあげ、その有効性・汎用性について、具体的事例に基づきながら批判的に検証する。本科目の履修を通じて、学生は一般的な経営管理論や産業論では見落とされがちな、農産物および農業食料関連産業に関わる多元的側面への批判的洞察方法を習得することができる。理論枠組みや諸概念に関する重要論文は毎年取りあげるが、具体的事例は参加者の興味関心に合わせるなど固定せず、複数年度履修者にも配慮した設計とする。</p> <p>授業評価は授業への参加度、レポートによって行う。</p>	

科目区分	開設大学	授業科目の名称	講義等の内容	備考
重点分野上級	京都大学	Historical Approaches to Business and Economics A (経済・経営の歴史分析 A)	本科目は、国際ビジネスに関する様々な文献を通して、年代順及びテーマ別に、16世紀から今日に到る非常に長い期間における国際ビジネスの発展を概観する。授業は、講義・チュートリアル・セミナーを通じた7つのセッションから構成され、講義では様々なテーマをカバーし、授業で使用するパワーポイント資料は受講者が後で閲覧できるよう共有する。講義の内容は、試験の対象となる。チュートリアルでは、関連文献や講義の内容について討論を行う。また受講者は、自身の研究内容についてより広い視点から分析できるよう、当授業で扱うテーマやアプローチを応用させる形で自身の修士論文にかかる研究について発表を行う。 授業評価は授業への参加度、授業内で出される課題によって行う。	集中隔年
	京都大学	Historical Approaches to Business and Economics B (経済・経営の歴史分析 B)	イノベーションと企業家精神は、経済・経営の歴史分析における中心的課題であり、本科目では、イノベーション、企業家精神、そして経済変動に関する研究の理論的・方法論的、あるいは主題別の諸問題の基本について概説する。講義やディスカッション、演習を通じて、受講者自身の研究にも、これらのアプローチを応用することができるようにする。 授業評価は授業への参加度、授業内で出される課題によって行う。	集中隔年
	京都大学	Business History & Industry Studies Readings A (経営史・産業論リーディングA)	本科目は、経営史・産業論の分野における①基礎概念、②重要な理論体系・分析枠組み・研究アプローチ、③大きな歴史的テーマに関する見方・論争 (Historiography) を理解するために、教科書や要約された情報によるのではなく、選りすぐられた重要な作品 (研究書や論文など。古典を含む) そのものを読み、考え、議論を行う。参加者は、必ず対象となる文献を事前に読んだうえで参加する。文献は1冊の本であることも、1編から数編の論文であることもある。ボリュームに応じた読み方 (精読/多読) を身に着けることも本科目の目的のひとつである。1冊の本であっても、少なくとも指定された部分は必ず事前に読んだうえで参加する。 A では管理史・経営組織史・産業史の分野の成果を学ぶ。 授業評価は授業への参加度、授業内で出される課題によって行う。 【オムニバス方式/全15回】 (2 田中 彰) 第1-5回 (5回) イントロダクションおよびモジュール1 (管理史・経営組織史分野の古典的研究または最近注目の研究に係る文献の講読。取り上げる文献は毎期、適切なものを選択する)。 (6 渡邊 純子) 第6-9回 (4回) モジュール2 (管理史・経営組織史分野の古典的研究または最近注目の研究に係る文献の講読。取り上げる文献は毎期、適切なものを選択する)。 (1 黒澤 隆文) 第10-15回 (6回) モジュール3 (管理史・経営組織史分野の古典的研究または最近注目の研究に係る文献の講読。取り上げる文献は毎期、適切なものを選択する) および総括ディスカッション、フィードバック。	オムニバス方式隔年
	京都大学	Business History & Industry Studies Readings B (経営史・産業論リーディングB)	本科目は、経営史・産業論の分野における①基礎概念、②重要な理論体系・分析枠組み・研究アプローチ、③大きな歴史的テーマに関する見方・論争 (Historiography) を理解するために、教科書や要約された情報によるのではなく、選りすぐられた重要な作品 (研究書や論文など。古典を含む) そのものを読み、考え、議論を行う。参加者は、必ず対象となる文献を事前に読んだうえで参加する。文献は1冊の本であることも、1編から数編の論文であることもある。ボリュームに応じた読み方 (精読/多読) を身に着けることも本科目の目的のひとつである。1冊の本であっても、少なくとも指定された部分は必ず事前に読んだうえで参加する。	オムニバス方式隔年

科目区分	開設大学	授業科目の名称	講義等の内容	備考
重点分野上級			<p>B では国際経営史・グローバル産業論分野の成果を学ぶ。 授業評価は授業への参加度、授業内で出される課題によって行う。</p> <p>【オムニバス方式／全15回】 (2 田中 彰) 第1-6回 (6回) イントロダクションおよびモジュール1 (国際経営史分野の古典的研究または最近注目の研究に係る文献の講読。取り上げる文献は毎期、適切なものを選択する)。</p> <p>(1 黒澤 隆文) 第7-10回 (4回) モジュール2 (国際経営史分野の古典的研究または最近注目の研究に係る文献の講読。取り上げる文献は毎期、適切なものを選択する)。</p> <p>(6 渡邊 純子) 第11-15回 (5回) モジュール3 (国際経営史分野の古典的研究または最近注目の研究に係る文献の講読。取り上げる文献は毎期、適切なものを選択する) および総括ディスカッション、フィードバック。</p>	
研究スキル	京都大学	Advanced Academic Writing & Presentation (アカデミックライティング・プレゼンテーション (上級))	<p>本科目は、英語による論文執筆・発表のスキルアップ向上を目的とし、剽窃をしてはならないなどの論文執筆に関する基本的な心構えや作法に加え、効果的な論文の書き方や発表の仕方など実践的な知識やスキルを提供する。修士論文や学会発表原稿など実際に学生たちが執筆・発表する原稿をもとに、学生を少人数グループに分け、複数の教員が各グループの指導を担当することで、より実践に即した指導を行う。さらに、学生同士で原稿を読み批判し合うことにより、他人の良いところ・悪いところから学ぶとともに、将来指導する立場になった際のコメントの仕方などを身につける。 授業評価は授業への参加度、授業内で出される課題によって行う。</p> <p>【オムニバス方式／全15回】 (1 黒澤 隆文) 第1-15回 (15回) 論文の構成方法・効果的な議論の進め方、特に経営史・経済史研究における論文執筆の作法や研究の進め方について担当。</p> <p>(8 IVINGS, Steven Edward) 第1-15回 (15回) 英語ネイティブスピーカーとして、英語の書き方など基本的な英語指導、および英語論文執筆の作法を担当。</p> <p>(9 久野 愛) 第1-15回 (15回) 英語論文執筆の方法や研究の進め方、学会発表などでの効果的な表現などを担当。</p>	<p>集中 オムニバス 方式</p> <p>講義： 12時間 演習： 10.5時間</p>
	京都大学	Qualitative Research Methods (質的調査方法論)	<p>本科目は、人文社会科学諸領域に共通して適用可能な質的調査方法に基づく①リサーチデザイン、②質的データ収集法 (構造化インタビュー、半構造化インタビュー、非構造化インタビュー、フォーカスグループ、参与観察、グラウンデッド・セオリー・アプローチ等)、③質的データ分析法 (トランスクリプション、コーディング、内容分析、会話分析等) について、その概要と事例に関する講義を提供するとともに、学生が実際にこれらの方法を用いる練習を行うことで、質的調査方法への理解とスキルを理論的・実践的に深めることを目的としている。 授業評価は授業への参加度、授業内で出される課題によって行う。</p>	
研究 I	京都大学	Master Thesis Design (修士論文デザイン)	<p>本科目は、修士論文の作成に必要なリサーチデザインや調査・分析方法、課題の設定方法など、基本的なアカデミックスキルの指導を行う。最終学期の論文指導の前段階として、各指導教員による研究指導、および複数の教員が共同で行う授業からなり、学生は個々の研究課題に基づいて指導を受けるとともに、より一般的な研究・調査の作法や論文執筆方法について学ぶ。 授業評価は授業への参加度、レポートによって行う。</p>	

科目区分	開設大学	授業科目の名称	講義等の内容	備考
研究Ⅰ	京都大学	Master Thesis Design (修士論文デザイン)	<p>(1 黒澤 隆文) 以下の3つのいずれかに該当する研究分野・手法の研究を行う大学院生を受け入れる。 ①産業論・産業史・産業政策に関する分析(対象地域を問わない) ②ヨーロッパの経済・経営・政策に関する分析 ③経済史・経営史(地域を問わない) また一般に、歴史的な視点と手法に関心があること、今日の社会の多様な問題について関心と問題意識を持つことを指導の条件とする。</p> <p>(2 田中 彰) 日本あるいはアジア太平洋地域の企業システム・企業間システムを歴史的観点をふまえて研究しようとする学生を受け入れる。</p> <p>(3 根井 雅弘) 現代経済思想史上の文献を幅広く読み、そのなかから自分の研究テーマを探そうとする学生を受け入れる。</p> <p>(4 久野 秀二) ①国内外の農業・食料・農村問題、②地域開発問題、③これらに関わる多国籍企業・国際機関・市民社会の役割に興味があり、農業・食料・開発に関連する社会科学分野を学部専門レベルで既習で、学際的なアプローチを志向する学生を優先的に受け入れる。</p> <p>(5 矢野 剛) 移行・途上国経済の数量的分析に興味のある学生を受け入れる。</p> <p>(6 渡邊 純子) 日本経済について、歴史(長期)的視点から研究する学生を対象とする。経済学や経営学の理論を踏まえた歴史分析を重視する。</p> <p>(7 Wang Tao) 組織理論、社会的評価、非市場戦略を専攻する学生を受け入れる。</p> <p>(8 IVINGS, Steven Edward) 社会経済史(東アジア・ヨーロッパ)、植民地開発論、コロニアル・ポストコロニアル人口移動を専攻する学生を受け入れる。</p> <p>(9 久野 愛) 経営史、特に欧米地域のビジネス・消費主義文化・社会史を横断したテーマを中心に指導を行う。</p>	
研究Ⅱ	京都大学・グラスゴー大学・バルセロナ大学	Master Thesis Research (修士論文研究)	<p>本科目は、修士論文の作成過程で必要となるリサーチデザイン、実際の調査・分析および執筆に関する指導を行う。すなわち、各学生の問題意識から出発しつつ、専門分野の学術動向や資料・データのアクセス可能状況を勘案して適切な研究対象、リサーチクエスションおよび研究方法を設定すること、資料収集(フィールド調査を含む)、その分析・解釈に必要なアカデミックスキルを研究実践を通じて身につけさせること、得られた知見を系統的に叙述して修士論文として完成させることのすべてが課題となる。</p> <p>以上の過程は学生の専門分野、研究対象・課題、語学力、アカデミックスキルズ、および研究のステップに応じて多様であり、指導教員は具体的な状況に応じて適切な指導を行う。</p> <p>授業評価は授業への参加度、レポートによって行う。</p> <p>【京都大学】 (1 黒澤 隆文) 以下の3つのいずれかに該当する研究分野・手法の研究を行う大学院生を受け入れる。</p>	共同開設科目

科目区分	開設大学	授業科目の名称	講義等の内容	備考
研究II	京都大学・グラスゴー大学・バルセロナ大学	Master Thesis Research (修士論文研究)	<p>①産業論・産業史・産業政策に関する分析（対象地域を問わない） ②ヨーロッパの経済・経営・政策に関する分析 ③経済史・経営史（地域を問わない） また一般に、歴史的な視点と手法に関心があること、今日の社会の多様な問題について関心と問題意識を持つことを指導の条件とする。</p> <p>(2 田中 彰) 日本あるいはアジア太平洋地域の企業システム・企業間システムを歴史的観点からふまえて研究しようとする学生を受け入れる。</p> <p>(3 根井 雅弘) 現代経済思想史上の文献を幅広く読み、そのなかから自分の研究テーマを探そうとする学生を受け入れる。</p> <p>(4 久野 秀二) ①国内外の農業・食料・農村問題、②地域開発問題、③これらに関わる多国籍企業・国際機関・市民社会の役割に興味があり、農業・食料・開発に関連する社会科学分野を学部専門レベルで既習で、学際的なアプローチを志向する学生を優先的に受け入れる。</p> <p>(5 矢野 剛) 移行・途上国経済の数量的分析に興味のある学生を受け入れる。</p> <p>(6 渡邊 純子) 日本経済について、歴史（長期）的視点から研究する学生を対象とする。経済学や経営学の理論を踏まえた歴史分析を重視する。</p> <p>(7 Wang Tao) 組織理論、社会的評価、非市場戦略を専攻する学生を受け入れる。</p> <p>(8 IVINGS, Steven Edward) 社会経済史（東アジア・ヨーロッパ）、植民地開発論、コロニアル・ポストコロニアル人口移動 を専攻する学生を受け入れる。</p> <p>(9 久野 愛) 経営史、特に欧米地域のビジネス・消費主義文化・社会史を横断したテーマを中心に指導を行う。</p> <p>【グラスゴー大学】 (1 Jeff Fear) ヨーロッパ経済史、国際経済、移民や家族ビジネスを専攻とする学生を受け入れる。</p> <p>(2 Jim Tomlinson) 経済史、社会史を専攻とする学生を受け入れる。</p> <p>(3 Neil Rollings) イギリス政治経済史、ヨーロッパ経済を専攻とする学生を受け入れる。</p> <p>(4 Ray Stokes) ヨーロッパ経済史・経営史、技術移転を専攻とする学生を受け入れる。</p> <p>(5 Duncan Ross) スコットランド経済史、金融・バンキング史を専攻とする学生を受け入れる。</p>	

科目区分	開設大学	授業科目の名称	講義等の内容	備考
研究II	京都大学・グラスゴー大学・バルセロナ大学	Master Thesis Research (修士論文研究)	<p>(6 Jim Phillips) イギリス・スコットランド経済史，労働史を専攻とする学生を受け入れる。</p> <p>(7 Christopher Miller) 軍隊史，グローバリゼーションを専攻とする学生を受け入れる。</p> <p>(8 Hannah-Louise Clark) 国際健康，社会福祉，国際経済，アフリカ史を専攻とする学生を受け入れる。</p> <p>(9 Helen Yaffe) キューバ史，ラテンアメリカ経済史を専攻とする学生を受け入れる。</p> <p>【バルセロナ大学】</p> <p>(1 Elisenda Paluzie Hernandez) 国際貿易を専攻とする学生を受け入れる。</p> <p>(2 Juan Tugores Ques) 国際経済を専攻とする学生を受け入れる</p> <p>(4 Paloma Fernandez Perez) 国際経済，家族ビジネス，経営史を専攻とする学生を受け入れる。</p> <p>(5 Javier Manuel Romani Fernandez) 国際経済，ビジネスを専攻とする学生を受け入れる。</p> <p>(6 Josep Lladós Masllorens) 国際経済を専攻とする学生を受け入れる。</p> <p>(7 Maria Esther Hormiga Perez) アントレプレナーシップを専攻とする学生を受け入れる。</p> <p>(8 Montserrat Pareja-Eastaway) 都市経済を専攻とする学生を受け入れる。</p> <p>(10 Patricia Elgoibar Esteban) 国際経済，組織論を専攻とする学生を受け入れる。</p>	

(注)

- 1 国際連携学科等を設置する場合は，別記様式第2号（その3の1）に代えて，この書類を作成すること。加えて，国際連携教育学科等を設置する大学及び連携外国大学別にこの書類を作成すること。共同開設科目については，当該科目の単位を修得した場合には，単位を修得したとする大学の書類に含めること。
- 2 開設する授業科目の数に応じ，適宜枠の数を増やして記入すること。
- 3 私立の大学若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合，大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は，この書類を作成する必要はない。

授業科目の概要（国際連携学科等）				
（経済学研究科 京都大学国際連携グローバル経済・地域創造専攻（修士課程））（グラスゴー大学）				
科目区分	開設大学	授業科目の名称	講義等の内容	備考
グローバル経済入門	グラスゴー大学	The Globalised Economy	本授業はグローバル市場の特徴と発展、およびグローバリゼーションや関連する経済理論について概説する。グローバリゼーションによる変化やその影響を国・地域別に比較分析し、ミクロおよびマクロレベルで、関連する様々な組織やグローバリゼーションがもたらす多様な影響を考察する。これにより、グローバリゼーションの経済的要因・影響だけでなく、社会的・政治的・文化的側面について学生の理解を深める。 授業評価は、レポートに基づいて行う。	
	グラスゴー大学	Global Varieties of Capitalism	本授業は比較政治経済学アプローチの一つ「Varieties of Capitalism（資本主義の多様性）」について概説する。参考文献・授業での討論を通して、当アプローチの理論的枠組み、特に経済発展におけるアクター・組織の役割に焦点を当てる。ヨーロッパ、アジア、南北アメリカ経済を比較することで、様々な形態の市場経済がいかに発展してきたのか、いかなる相違があるのかを分析する。 授業評価は、レポート、プレゼンテーションに基づいて行う。 【オムニバス方式／全16回】 (1 黒澤隆文) (8 IVINGS, Steven Edward)（京都大学） 第7, 8, 11, 12回（4回） 黒澤：アジア地域を中心に経営史観点から見た資本主義の歴史を担当する。 Ivings：アジア、特に日本の経済史を中心とした資本主義の歴史をグローバルな視点から分析する講義を担当する。 (10 Jan Logemann) (11 Robert Bernsee)（ゲッティンゲン大学） 第1-6, 9-10, 13-16回（12回） Logemann：資本主義や資本主義の多様性についての基本的な概念・学術的論争を担当する。 Bernsee：資本主義の基本的知識とともに、主にヨーロッパ地域における資本主義の多様性を担当する。	集中 オムニバス 方式 共同（一部） メモ：京都 大学、ゲッ ティンゲン 大学教員が グラスゴー 大学にて提 供
グローバル経済専門Ⅰ	グラスゴー大学	Globalisation and Labour	本授業は、グローバル経済発展における、労働力や組合における労働者の活動に焦点を当てる。特に、階級・ジェンダー・人種間格差など様々な労働問題が統合されたグローバル経済といかなる関係にあるのか考察する。企業や雇用主がいかに労働組織に影響を及ぼすのか、政府や国際機関がいかに労働問題を規制してきたのかなど、労働者・労働問題を多角的に分析する。 授業評価は、レポートに基づいて行う。	
	グラスゴー大学	Technology Transfer in the Global Economy	本授業は、19世紀以降、技術移転がいかに行われてきたのか、また巨大企業の出現がいかなる影響を及ぼしてきたのか概観する。特に同テーマに関する学術文献を様々な角度から分析し、例えば、国際特許システムや企業間協力がいかに技術移転に影響を与えてきたのか考察する。これにより学際的かつ多角的な分析視角を提供することを目的とする。 授業評価は、ファイナルレポートに基づいて行う。 【オムニバス方式／全10回】 (4 Ray Stokes) 第1-4, 10回（5回） イノベーションおよび技術移転の基礎的な概念・定義・学術研究について概説を行う。	オムニバス 方式 共同（一部）

科目区分	開設大学	授業科目の名称	講義等の内容	備考
			(7 Christopher Miller) 第5-9,10回(6回) イノベーション・技術移転について、国別・企業別などより細かい事例を通じた説明を行う。	
重点分野基礎Ⅰ	グラスゴー大学	Latin American Development from Independence to the Present	本授業は、ラテンアメリカ地域における経済発展の変化や関連テーマについて分析する。特に、同地域の長期的変化・発展における地理的要因、環境、生産要素賦存、制度、ポリシー、国際動向に着目することで、政治的不安定性や経済格差、産業化、ポピュリズムの台頭、経済危機等について考察する。これらのテーマに関する学術文献を概観することで、学問的動向・発展や理論的枠組みなどを理解することを目的とする。 授業評価は、課題文献のレビューとファイナルレポートによる。	
重点分野応用Ⅰ	グラスゴー大学	Innovation in the Middle East and North Africa	本授業は、宗教、文化、イノベーションが中東・北アフリカ地域(MENA)においていかに関連しあっているかを分析する。特にイノベーションとアントレプレナーシップの発展、西洋科学や技術の移転、STEM(科学・技術・工学・数学)分野における女性の役割、さらにバイオエシックスやエネルギー問題の政治性などの問題が経済発展といかに関わってきたかに着目する。本授業では、MENA地域の特殊性を主張する議論を批判的に考察するとともに、より広い分析モデルを使って当該地域の経済発展を分析する。 授業評価は、課題文献のレビュー(レポート2本)とファイナルレポートによる。	

(注)

- 国際連携学科等を設置する場合は、別記様式第2号(その3の1)に代えて、この書類を作成すること。加えて、国際連携教育学科等を設置する大学及び連携外国大学別にこの書類を作成すること。共同開設科目については、当該科目の単位を修得した場合に、単位を修得したとする大学の書類に含めること。
- 開設する授業科目の数に応じ、適宜枠の数を増やして記入すること。
- 私立の大学若しくは高等専門学校に収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合、大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は、この書類を作成する必要はない。

授業科目の概要（国際連携学科等）				
（経済学研究科 京都大学国際連携グローバル経済・地域創造専攻（修士課程））（バルセロナ大学）				
科目区分	開設大学	授業科目の名称	講義等の内容	備考
クリエイティブ企業・産業	バルセロナ大学	Companies in Emerging Sectors	本授業では、新興経済地域における産業および企業について概説する。新興経済に関する知識を未知の領域での問題解決に適用し、またプロジェクトの計画やチームでの活動に関する技能、イノベーションを生み出す独創性を習得することを目指す。 授業評価は、出席、授業への参加、個人またはグループ課題に基づいて行う。	
	バルセロナ大学	Creative Cities: Intervention Models and Entrepreneurial Dynamics	本授業では、都市部のクリエイティブ産業においてグローバルとローカルな状況がいかに関係しているのかを考察する。また、グローバルな競争力を保持するためローカルなレベルでどのようなイノベーションが起きているのかを分析する。当授業を通してイノベーションやR&D、アントレプレナーシップに関わるポリシーを分析したり、新しいプロジェクトの立ち上げ・管理をするために必要な創造的かつ起業家的能力を育成する。 授業評価は、プレゼンテーション、レポート、期末試験により行う。	
	バルセロナ大学	Family Business: Innovation and Globalisation	本授業では、先進国と途上国の両方における同族経営について概説し、その重要性を説明するうえで必要な概念的および実証的なツールを提供する。イノベーション、同族経営を可能にする様々な方法について知識を得たうえで、特定の地域や産業にそれらの方法を当てはめ具体的に考察するとともに、応用段階では地域のイノベーション促進政策や企業の戦略を分析する。 授業評価は、レポート、プレゼンテーションに基づいて行う。	
	バルセロナ大学	Port Cities in Historical Perspective	本授業では、西暦1500年以降の内陸都市と港湾都市の特性を比較し、歴史的な港湾都市における場所と空間の影響を考察する。流動的なグローバル環境における港湾都市の物流、消費性向、生活様式との関係性について議論し、港湾都市内の異質な集団がいかにアイデアの対立と創造的な都市環境の発展を促進するのかについて批判的に分析する。 授業評価は、3度の試験に基づいて行う。 また、通常の講義（下記9回）に加えて、フィールドワークと学生によるプレゼンテーションを実施する。 【オムニバス方式／全9回】（集中のため各回2時間の授業） （11 Hein Klemann）第1-3回（3回） 19世紀から20世紀において技術革新や産業化と港湾都市の歴史を担当する。 （12 Paul T. van de Laar）第4-6回（3回） 20世紀後半における港湾都市の変化を移民の動きをもとに分析する授業を担当する。 （13 Maarten van Dijck）第7-9回（3回） 近世における港湾都市の変化、特に多様な民族・人々の交流や文化越境について担当する。	集中 オムニバス 方式 メモ：エラスムス・ロッテルダム大学教員がバルセロナ大学にて提供
グローバル経済専門II	バルセロナ大学	Global Health	本授業は、国際保健に関わる様々な問題をアクターや個別の事例を概観しながら理解を深める。各国政府・国際機関・プライベートセクター・NGOなど多様なステークホルダーの取り組みとその課題を分析したのうち、保険制度やヘルスケアシステム、該当分野に関する法制度などについて社会的・経済的要因、ジェンダーなど様々な分析視角を用いて考察する。 授業評価は、授業参加、プレゼンテーションに基づいて行う。	

科目区分	開設大学	授業科目の名称	講義等の内容	備考
グローバル経済専門Ⅱ	バルセロナ大学	Topics in International Economics	国際貿易・世界経済・投資など国際経済に関わるテーマについて理解を深める。特にグローバル化によって大きく変化してきた貿易や金融、プロダクションサイクルなどに焦点を当て、競争力の変化やグローバル化の影響、規制、成長戦略などマイクロ・マクロ両方の視点から国際経済の変化・発展を分析する。これにより理論的枠組みだけでなく、実社会における金融制度・政策についての理解を深めることを目的とする。 授業評価は授業参加、貿易・金融それぞれのテーマに関するレポートによる。	
	バルセロナ大学	Topics in International Politics	本授業は、国際政治の主要なテーマを概観するとともに、当研究領域における分析枠組みや手法・方法論などへの理解を深めることを目的とする。特に授業では、グローバル化社会における国際システム、そこに関わる人や機関、構造的変化などに注目し、政治的・社会的問題を批判的に分析できる能力を身につける。 授業評価は授業参加、中間および期末レポートで判断する。	
重点分野基礎Ⅱ	バルセロナ大学	Quantitative Analysis for International Business	本授業は経済問題を分析・理解するための主要概念および計量分析手法を概説する。特に、統計分析の特徴、データ解析に必要な知識、統計ソフトウェアを使った分析結果の使用方法、分析データをもとにいかにか課題解決を引き出すかなど、計量分析を実践的に役立てることを目的とする。 授業評価は、試験によって行う。	
重点分野応用Ⅱ	バルセロナ大学	Conflict Management in Negotiation	本授業は、組織間衝突をいかに解決するか、異なる文化間における衝突でいかに責任者が交渉戦略を立てるべきか、企業内における交渉戦略の立て方、いかに組織内で信頼を獲得し衝突を解決するか、など当事者の文化的背景の違いに注目をしながら、組織内・間における交渉のあり方について概説する。特に衝突が起きる要因や解決手段、その社会的・文化的関連性についても考察する。 授業評価は、グループワーク、期末試験によって行う。	
キャリアトレーニング	バルセロナ大学	Practicum (Consultancy Project)	本授業は、習得した知識を実際に企業が直面する課題の解決に活かせるよう、独創的で起業家精神に富んだ課題解決方法の習得を目指す。特に、倫理的問題や歴史的背景に照らし合わせて、企業や組織内部の状況・問題に応じた課題解決を行うための批判的分析能力が習得できるようにする。学生は少なくとも2週間に一度、それぞれのプロジェクトに関する分析と評価を教員に報告する。 授業評価はこれら定期的なレポートおよび最終プレゼンテーションによって行う。	演習(面談・個別指導)：90時間、 演習(コンサルティングプロジェクト)：160時間
	バルセロナ大学	Institutional or Company Placement	本授業は、習得した知識を実践の場で生かす機会を学生に与えることを目的とし、実際に企業または公的機関においてインターンとして職務をこなす。また、実際の専門的トレーニング・職務を遂行することで、組織内で他者と共に働く能力の習得を目指す。 授業評価は、企業・組織における活動に対して、職場の担当者からのレポート、および学生本人によるレポートによって行う。	

(注)

- 国際連携学科等を設置する場合は、別記様式第2号(その3の1)に代えて、この書類を作成すること。加えて、国際連携教育学科等を設置する大学及び連携外国大学別にこの書類を作成すること。共同開設科目については、当該科目の単位を修得した場合に、単位を修得したとする大学の書類に含めること。
- 開設する授業科目の数に応じ、適宜枠の数を増やして記入すること。
- 私立の大学若しくは高等専門学校に於ける学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合、大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は、この書類を作成する必要はない。

国立大学法人京都大学 設置認可等に関する組織の移行表

令和2年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	令和3年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由
京都大学				京都大学				
総合人間学部				総合人間学部				
総合人間学科	120		480	総合人間学科	120		480	
文学部				文学部				
人文学科	220		880	人文学科	220		880	
教育学部				教育学部				
教育科学科	60	3年次 10	260	教育科学科	60	3年次 10	260	
法学部				法学部				
	330	3年次 10	1,340		330	3年次 10	1,340	
経済学部				経済学部				
経済経営学科	240	3年次 20	1,000	経済経営学科	240	3年次 20	1,000	
理学部				理学部				
理学科	311		1,244	理学科	311		1,244	
医学部				医学部				
医学科	107		642	医学科	107		642	
人間健康科学科	100	2年次 17	451	人間健康科学科	100	2年次 17	451	
薬学部				薬学部				
薬科学科	65		260	薬科学科	65		260	
薬学科	15		90	薬学科	15		90	
工学部				工学部				
地球工学科	185		740	地球工学科	185		740	
建築学科	80		320	建築学科	80		320	
物理工学科	235		940	物理工学科	235		940	
電気電子工学科	130		520	電気電子工学科	130		520	
情報学科	90		360	情報学科	90		360	
工業化学科	235		940	工業化学科	235		940	
農学部				農学部				
資源生物科学科	94		376	資源生物科学科	94		376	
応用生命科学科	47		188	応用生命科学科	47		188	
地域環境工学科	37		148	地域環境工学科	37		148	
食料・環境経済学科	32		128	食料・環境経済学科	32		128	
森林科学科	57		228	森林科学科	57		228	
食品生物科学科	33		132	食品生物科学科	33		132	
計	2,823	57	11,667	計	2,823	57	11,667	

令和2年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員
京都大学大学院			
文学研究科			
文献文化学専攻			
博士前期課程(M)	33		66
博士後期課程(D)	18		54
思想文化学専攻			
博士前期課程(M)	20		40
博士後期課程(D)	11		33
歴史文化学専攻			
博士前期課程(M)	20		40
博士後期課程(D)	11		33
行動文化学専攻			
博士前期課程(M)	18		36
博士後期課程(D)	10		30
現代文化学専攻			
博士前期課程(M)	9		18
博士後期課程(D)	5		15
京都大学・ハイデルベルク大学国際連携文化越境専攻			
博士前期課程(M)	10		20
教育学研究科			
教育学環専攻			
博士前期課程(M)	42		84
博士後期課程(D)	25		75
法学研究科			
法政理論専攻			
博士前期課程(M)	21		42
博士後期課程(D)	24		72
法曹養成専攻			
専門職学位課程(P)	160		480
経済学研究科			
経済学専攻			
博士前期課程(M)	70		140
博士後期課程(D)	25		75
理学研究科			
数学・数理解析専攻			
博士前期課程(M)	52		104
博士後期課程(D)	20		60
物理学・宇宙物理学専攻			
博士前期課程(M)	81		162
博士後期課程(D)	48		144
地球惑星科学専攻			
博士前期課程(M)	50		100
博士後期課程(D)	25		75
化学専攻			
博士前期課程(M)	61		122
博士後期課程(D)	32		96
生物科学専攻			
博士前期課程(M)	74		148
博士後期課程(D)	41		123
医学研究科			
医学専攻			
博士課程(D)(4年制)	166		664
医科学専攻			
博士前期課程(M)	20		40
博士後期課程(D)	15		45



令和3年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由
京都大学大学院				
文学研究科				
文献文化学専攻				
博士前期課程(M)	33		66	
博士後期課程(D)	18		54	
思想文化学専攻				
博士前期課程(M)	20		40	
博士後期課程(D)	11		33	
歴史文化学専攻				
博士前期課程(M)	20		40	
博士後期課程(D)	11		33	
行動文化学専攻				
博士前期課程(M)	18		36	
博士後期課程(D)	10		30	
現代文化学専攻				
博士前期課程(M)	9		18	
博士後期課程(D)	5		15	
京都大学・ハイデルベルク大学国際連携文化越境専攻				
博士前期課程(M)	10		20	
教育学研究科				
教育学環専攻				
博士前期課程(M)	42		84	
博士後期課程(D)	25		75	
法学研究科				
法政理論専攻				
博士前期課程(M)	21		42	
博士後期課程(D)	24		72	
法曹養成専攻				
専門職学位課程(P)	160		480	
経済学研究科				
経済学専攻				
博士前期課程(M)	70		140	
博士後期課程(D)	25		75	
<u>京都大学国際連携グローバル経済・地域創造専攻</u>				
博士前期課程(M)	<u>8</u>		<u>16</u>	専攻の設置(認可申請)
理学研究科				
数学・数理解析専攻				
博士前期課程(M)	52		104	
博士後期課程(D)	20		60	
物理学・宇宙物理学専攻				
博士前期課程(M)	81		162	
博士後期課程(D)	48		144	
地球惑星科学専攻				
博士前期課程(M)	50		100	
博士後期課程(D)	25		75	
化学専攻				
博士前期課程(M)	61		122	
博士後期課程(D)	32		96	
生物科学専攻				
博士前期課程(M)	74		148	
博士後期課程(D)	41		123	
医学研究科				
医学専攻				
博士課程(D)(4年制)	166		664	
医科学専攻				
博士前期課程(M)	20		40	
博士後期課程(D)	15		45	

令和2年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	令和3年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由
社会健康医学系専攻				社会健康医学系専攻				
博士後期課程(D)	12		36	博士後期課程(D)	12		36	
専門職学位課程(P)	34		68	専門職学位課程(P)	34		68	
人間健康科学系専攻				人間健康科学系専攻				
博士前期課程(M)	49		98	博士前期課程(M)	49		98	
博士後期課程(D)	15		45	博士後期課程(D)	15		45	
京都大学・マギル大学				京都大学・マギル大学				
ゲノム医学国際連携専攻				ゲノム医学国際連携専攻				
博士課程(D)(4年制)	4		16	博士課程(D)(4年制)	4		16	
薬学研究科				薬学研究科				
薬科学専攻				薬科学専攻				
博士前期課程(M)	50		100	博士前期課程(M)	50		100	
博士後期課程(D)	22		66	博士後期課程(D)	22		66	
薬学専攻				薬学専攻				
博士課程(D)(4年制)	15		60	博士課程(D)(4年制)	15		60	
医薬創成情報科学専攻				医薬創成情報科学専攻				
博士前期課程(M)	14		28	博士前期課程(M)	14		28	
博士後期課程(D)	7		21	博士後期課程(D)	7		21	
工学研究科				工学研究科				
社会基盤工学専攻				社会基盤工学専攻				
博士前期課程(M)	58		116	博士前期課程(M)	58		116	
博士後期課程(D)	17		51	博士後期課程(D)	17		51	
都市社会工学専攻				都市社会工学専攻				
博士前期課程(M)	57		114	博士前期課程(M)	57		114	
博士後期課程(D)	17		51	博士後期課程(D)	17		51	
都市環境工学専攻				都市環境工学専攻				
博士前期課程(M)	36		72	博士前期課程(M)	36		72	
博士後期課程(D)	10		30	博士後期課程(D)	10		30	
建築学専攻				建築学専攻				
博士前期課程(M)	75		150	博士前期課程(M)	75		150	
博士後期課程(D)	22		66	博士後期課程(D)	22		66	
機械理工学専攻				機械理工学専攻				
博士前期課程(M)	59		118	博士前期課程(M)	59		118	
博士後期課程(D)	16		48	博士後期課程(D)	16		48	
マイクロエンジニアリング 専攻				マイクロエンジニアリング 専攻				
博士前期課程(M)	30		60	博士前期課程(M)	30		60	
博士後期課程(D)	7		21	博士後期課程(D)	7		21	
航空宇宙工学専攻				航空宇宙工学専攻				
博士前期課程(M)	24		48	博士前期課程(M)	24		48	
博士後期課程(D)	7		21	博士後期課程(D)	7		21	
原子核工学専攻				原子核工学専攻				
博士前期課程(M)	23		46	博士前期課程(M)	23		46	
博士後期課程(D)	9		27	博士後期課程(D)	9		27	
材料工学専攻				材料工学専攻				
博士前期課程(M)	38		76	博士前期課程(M)	38		76	
博士後期課程(D)	10		30	博士後期課程(D)	10		30	
電気工学専攻				電気工学専攻				
博士前期課程(M)	38		76	博士前期課程(M)	38		76	
博士後期課程(D)	10		30	博士後期課程(D)	10		30	
電子工学専攻				電子工学専攻				
博士前期課程(M)	35		70	博士前期課程(M)	35		70	
博士後期課程(D)	10		30	博士後期課程(D)	10		30	
材料化学専攻				材料化学専攻				
博士前期課程(M)	29		58	博士前期課程(M)	29		58	
博士後期課程(D)	9		27	博士後期課程(D)	9		27	
物質エネルギー化学専攻				物質エネルギー化学専攻				
博士前期課程(M)	39		78	博士前期課程(M)	39		78	
博士後期課程(D)	11		33	博士後期課程(D)	11		33	
分子工学専攻				分子工学専攻				
博士前期課程(M)	35		70	博士前期課程(M)	35		70	
博士後期課程(D)	10		30	博士後期課程(D)	10		30	

令和2年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員
高分子化学専攻			
博士前期課程(M)	46		92
博士後期課程(D)	15		45
合成・生物化学専攻			
博士前期課程(M)	32		64
博士後期課程(D)	10		30
化学工学専攻			
博士前期課程(M)	34		68
博士後期課程(D)	7		21
農学研究科			
農学専攻			
博士前期課程(M)	33		66
博士後期課程(D)	8		24
森林科学専攻			
博士前期課程(M)	48		96
博士後期課程(D)	17		51
応用生命科学専攻			
博士前期課程(M)	63	126	
博士後期課程(D)	17	51	
応用生物科学専攻			
博士前期課程(M)	52	104	
博士後期課程(D)	17	51	
地域環境科学専攻			
博士前期課程(M)	50	100	
博士後期課程(D)	15	45	
生物資源経済学専攻			
博士前期課程(M)	24	48	
博士後期課程(D)	8	24	
食品生物科学専攻			
博士前期課程(M)	33	66	
博士後期課程(D)	8	24	
人間・環境学研究科			
共生人間学専攻			
博士前期課程(M)	69	138	
博士後期課程(D)	28	84	
共生文明学専攻			
博士前期課程(M)	57	114	
博士後期課程(D)	25	75	
相關環境学専攻			
博士前期課程(M)	38	76	
博士後期課程(D)	15	45	
エネルギー科学研究科			
エネルギー社会・環境科学専攻			
博士前期課程(M)	29	58	
博士後期課程(D)	12	36	
エネルギー基礎科学専攻			
博士前期課程(M)	42	84	
博士後期課程(D)	12	36	
エネルギー変換科学専攻			
博士前期課程(M)	25	50	
博士後期課程(D)	4	12	
エネルギー応用科学専攻			
博士前期課程(M)	34	68	
博士後期課程(D)	7	21	
アジア・アフリカ地域研究 研究科			
東南アジア地域研究専攻			
博士課程(D)(5年制)	10	50	
アフリカ地域研究専攻			
博士課程(D)(5年制)	12	60	

令和3年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由
高分子化学専攻				
博士前期課程(M)	46		92	
博士後期課程(D)	15		45	
合成・生物化学専攻				
博士前期課程(M)	32		64	
博士後期課程(D)	10		30	
化学工学専攻				
博士前期課程(M)	34		68	
博士後期課程(D)	7		21	
農学研究科				
農学専攻				
博士前期課程(M)	33		66	
博士後期課程(D)	8		24	
森林科学専攻				
博士前期課程(M)	48		96	
博士後期課程(D)	17		51	
応用生命科学専攻				
博士前期課程(M)	63	126		
博士後期課程(D)	17	51		
応用生物科学専攻				
博士前期課程(M)	52	104		
博士後期課程(D)	17	51		
地域環境科学専攻				
博士前期課程(M)	50	100		
博士後期課程(D)	15	45		
生物資源経済学専攻				
博士前期課程(M)	24	48		
博士後期課程(D)	8	24		
食品生物科学専攻				
博士前期課程(M)	33	66		
博士後期課程(D)	8	24		
人間・環境学研究科				
共生人間学専攻				
博士前期課程(M)	69	138		
博士後期課程(D)	28	84		
共生文明学専攻				
博士前期課程(M)	57	114		
博士後期課程(D)	25	75		
相關環境学専攻				
博士前期課程(M)	38	76		
博士後期課程(D)	15	45		
エネルギー科学研究科				
エネルギー社会・環境科学専攻				
博士前期課程(M)	29	58		
博士後期課程(D)	12	36		
エネルギー基礎科学専攻				
博士前期課程(M)	42	84		
博士後期課程(D)	12	36		
エネルギー変換科学専攻				
博士前期課程(M)	25	50		
博士後期課程(D)	4	12		
エネルギー応用科学専攻				
博士前期課程(M)	34	68		
博士後期課程(D)	7	21		
アジア・アフリカ地域研究 研究科				
東南アジア地域研究専攻				
博士課程(D)(5年制)	10	50		
アフリカ地域研究専攻				
博士課程(D)(5年制)	12	60		

令和2年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員
グローバル地域研究専攻			
博士課程(D)(5年制)	8		40
情報学研究科			
知能情報学専攻			
博士前期課程(M)	37		74
博士後期課程(D)	15		45
社会情報学専攻			
博士前期課程(M)	36		72
博士後期課程(D)	14		42
先端数理科学専攻			
博士前期課程(M)	20		40
博士後期課程(D)	6		18
数理工学専攻			
博士前期課程(M)	22		44
博士後期課程(D)	6		18
システム科学専攻			
博士前期課程(M)	32		64
博士後期課程(D)	8		24
通信情報システム専攻			
博士前期課程(M)	42		84
博士後期課程(D)	11		33
生命科学研究科			
統合生命科学専攻			
博士前期課程(M)	40		80
博士後期課程(D)	19		57
高次生命科学専攻			
博士前期課程(M)	35		70
博士後期課程(D)	14		42
総合生存学館			
総合生存学専攻			
博士課程(D)(5年制)	20		100
地球環境学舎			
地球環境学専攻			
博士後期課程(D)	13		39
環境マネジメント専攻			
博士前期課程(M)	44		88
博士後期課程(D)	7		21
公共政策教育部			
公共政策専攻			
専門職学位課程(P)	40		80
経営管理教育部			
経営科学専攻			
博士後期課程(D)	7		21
経営管理専攻			
専門職学位課程(P)	100		200
計	3,732		9,020

令和3年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由
グローバル地域研究専攻				
博士課程(D)(5年制)	8		40	
情報学研究科				
知能情報学専攻				
博士前期課程(M)	37		74	
博士後期課程(D)	15		45	
社会情報学専攻				
博士前期課程(M)	36		72	
博士後期課程(D)	14		42	
先端数理科学専攻				
博士前期課程(M)	20		40	
博士後期課程(D)	6		18	
数理工学専攻				
博士前期課程(M)	22		44	
博士後期課程(D)	6		18	
システム科学専攻				
博士前期課程(M)	32		64	
博士後期課程(D)	8		24	
通信情報システム専攻				
博士前期課程(M)	42		84	
博士後期課程(D)	11		33	
生命科学研究科				
統合生命科学専攻				
博士前期課程(M)	40		80	
博士後期課程(D)	19		57	
高次生命科学専攻				
博士前期課程(M)	35		70	
博士後期課程(D)	14		42	
総合生存学館				
総合生存学専攻				
博士課程(D)(5年制)	20		100	
地球環境学舎				
地球環境学専攻				
博士後期課程(D)	13		39	
環境マネジメント専攻				
博士前期課程(M)	44		88	
博士後期課程(D)	7		21	
公共政策教育部				
公共政策専攻				
専門職学位課程(P)	40		80	
経営管理教育部				
経営科学専攻				
博士後期課程(D)	7		21	
経営管理専攻				
専門職学位課程(P)	100		200	
計	3,740		9,036	